



2016 年度 事業報告書



神戸 YWCA 保育園

公益財団法人 神戸 YWCA

目次



いま会いたい、私らしく生きる女性たち



わいわい科学クラブ

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
I．平和・人権事業	2
平和活動部	
現代史勉強会いもづる	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
被災者支援プロジェクト	
II．国際理解・多文化共生事業	5
国際相互支援部	
IWA（International Women's Assistance）	
III．地域福祉事業	7
地域福祉部	
わいわいランチ	
わいわいデイルーム	
わいわい亭	
弓の木歌の集い	
ちやいやあらんど	
夜回り準備会	
声の奉仕	
カフェもぐもぐ	
神戸YWCAまごの手（居宅介護事業所・訪問介護支援事業所）	
神戸YWCA保育園	
IV．生涯学習・人材育成事業	22
愛農人倶楽部	
アフタヌーン・ティー	
文学講座	
マザースカレッジ企画会	
わいわい科学クラブ	
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師養成コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
V．活動共通事業	30
キリスト教基盤部	
讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
運営委員会	
会員委員会	
VI．広報・ファンドレイジング	34
機関紙編集部	
VI．法人	36
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	38
2016年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・運営委員・職員	39
決算報告	41
監査報告	53

YWCA の使命（ミッション）

公益財団法人神戸 YWCA の目的

この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。（定款第3条）

2016 年度 神戸 YWCA ビジョン・活動目標・標語聖句

神戸 YWCA ビジョン

平和・地域・女性

- ・非核・非暴力による平和をつくる
- ・憲法をまもり、世界に広める
- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す
- ・若い女性が社会変革する力をつける

活動目標

誰もが関わりやすい、開かれた YWCA になる

標語聖句

希望はわたしたちを欺くことはありません（ローマの信徒への手紙 5 章 5 節）



Taste the World（世界の料理を食べよう）～台湾の客家文化を知ろう



愛農人倶楽部

日本 YWCA 主題・使命（ミッション）・ビジョン 2016

第 31 回全国総会決議

主 題 「平和を実現する人は幸いである」（マタイによる福音書 5 章 9 節）

日本 YWCA の使命（ミッション）

イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

日本 YWCA ビジョン 2016

- 1 非核・非暴力による平和を実現する
 - ・平和憲法をまもり、世界に広める
 - ・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
- 2 女性と子どもの権利をまもる
- 3 若い女性のリーダーシップを養成する

事業報告

I . 平和・人権事業

平和活動部

代表 鶴崎祥子
メンバー 7人
担当職員 原田雅子

● 活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法をまもる活動を継続する。

● 活動報告

今年も活動方針に沿ったプログラムを実施する努力をした。特に憲法出前プログラムは、松蔭女子学院大学で4回、クリスチャンセンターフェスティバルで1回実施したほか、日本YWCA全国会員総会でも活動紹介を行ない、各地域YWCAにアピールした。また7月の参議院選挙前の時期に、神戸市内の公園で立憲主義についての紙芝居を実演し、幼稚園のママ世代を中心に訴えた。

一方、昨年度から続けられている「どうなってるの、今の日本!？」では、女性の視点から憲法24条を根底にもちつつ、身近な「結婚」をテーマに話し合う時をもった。次年度も続けて取り組みたい。

「平和集会」は、女性の視点で憲法について考える集会を行なえるよう、検討を重ねてきた。結果、2017年度に実施となり、憲法学者・若尾典子さんを講師に招き、2017年5月20日(土)に開催する。

部会は毎月1回実施。他団体への協力としての参加も継続している。

● 活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延 参加人数	平均 参加人数
5月7日	第1回 部会	メンバー紹介、代表者選出、活動計画・予算について	7	91 (全12回)	7
6月13日	第2回 部会	平和集会について、7月参議院選挙にむけて	7		
7月25日	第3回 部会	憲法出前ワークショップについて	7		
8月23日	第4回 部会	高江の現状についての報告、クリスチャンセンター・全国会員総会での憲法出前プログラムについて	8		
9月26日	第5回 部会	「どうなってるの、今の日本?!」内容の検討	8		
10月15日	第6回 部会	「どうなってるの、今の日本?!」進行、役割分担	7		
11月12日	第7回 部会	平和集会について	8		
12月12日	第8回 部会	平和集会、2017年度活動計画・予算	8		
1月16日	第9回 部会	平和集会、今後の憲法出前プログラムについて	8		
2月24日	第10回 部会	平和集会に向けての勉強会	7		
3月30日	第11回 部会	平和集会、憲法出前プログラム、ポーポキミニ映画祭	8		
4月21日	第12回 部会	平和集会、憲法出前プログラム	8		

● 神戸YWCA主催プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月18日	憲法出前ワークショップ (松蔭女子学院大学)	主権者教育授業 18歳選挙権 どうする?	川辺、鶴崎、東根	9
5月23日	憲法出前ワークショップ (松蔭女子学院大学)	主権者教育授業 18歳選挙権 どうする?	川辺、武田、寺沢、東根	41
5月30日	憲法出前ワークショップ (松蔭女子学院大学)	主権者教育授業 18歳選挙権 どうする?	川辺、鶴崎、寺沢	25
6月1日	憲法出前ワークショップ (松蔭女子学院大学)	主権者教育授業 18歳選挙権 どうする?	斎藤、川辺、鶴崎	39

6月24日	憲法紙芝居プロジェクト (神戸YWCA本館)	「みんなで選挙!」活動の一環として、明日の自由を守る若手弁護士の会作成紙芝居「王様を縛る法-憲法のはじまり」を実演	川辺、千葉、松下	5
6月26日	憲法紙芝居プロジェクト (六甲道南公園)		川辺、千葉、松下	7
6月27日	憲法紙芝居プロジェクト (雲中公園)		川辺、千葉、松下	6
7月1日	憲法紙芝居プロジェクト (新神戸芸術センター前)		川辺、千葉、松下	6
7月2日	憲法紙芝居プロジェクト (六甲道南公園)		川辺、千葉	3
7月5日	憲法紙芝居プロジェクト (神戸東遊園地)		川辺、千葉	3
7月7日	憲法紙芝居プロジェクト (神戸YWCA分室)		川辺、千葉、松下	10
9月10日	クリスチャンセンター・フェスティバル (兵庫教区クリスチャン・センター)	明日の自由を守る若手弁護士の会作成紙芝居「王様を縛る法-憲法のはじまり」を実演	川辺、鶴崎、山本	約230
11月2日	どうなってるの、今の日本! 言ってみよう素朴なギモン! 3 (神戸YWCA本館)	「結婚」って!?	山本	19
延参加人数 (全13プログラム)				403

● 他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月3日	5・3兵庫憲法集会 (神戸東遊園地)	戦争させない、9条壊すな!	主催:戦争させない、9条壊すな! 5・3総がかり行動兵庫県実行委員会	神戸Yより 13
5月28日	兵庫県集会・パレード (神戸東遊園地)	憲法違反の「安保法制」& 「特定秘密保護法」廃止!	主催: 兵庫県弁護士会	神戸Yより 6
6月19日	堤未果講演会 (神戸芸術センター)	未来は私たちが選ぶ 演題:戦争はつくられている?!	堤未果 主催:堤未果講演会実行委員会	神戸Yより 15
11月18日	日本YWCA全国会員総会 オープンプログラム (東京YWCA)	憲法出前授業のすすめ	川辺、斎藤、鶴崎	神戸Yより 3
延参加人数 (全4プログラム)				37

現代史勉強会 いもづる

代表 山本かえ子
メンバー 2人、サポート3人

● 活動方針・目標

今年度のいもづるは、グループの存続の是非が問われることとなり、さまざまな面で活動の見直しを行なっていくことになった。ミーティングを定期的にかけて活動のやり方を検討しながら、年度後半には講演会を開催できるよう、取り組んでいく。

● 活動報告

現在のいもづるは、活動形式や内容を模索する時期が続いている。今年度は、依頼予定であった講師が体調不良で引き受けてもらえず、メンバー間で過去のいもづるを振り返る会を実施するのみとなり、その後の展望を定められないままになった。中心になって動けるメンバーが少なく、且つ各自が多忙であることもあり、会を持つために集まること自体が難しくなっている面もある。メンバーそれぞれが現在の社会情勢に問題意識を抱き、歴史を学び発信することに意欲を持ちつつも、講師をお願いして会を開くような運営を担うことは厳しい。来年度1年間は休会することとなった。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月11日	第1回ミーティング	岡村昭彦「我々はどんな時代に生きているのか」について、いもづるの活動を振り返る	4	7(全2回)	3
3月15日	第2回ミーティング	今後の活動について	3		

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子
メンバー 4人

● 活動方針・目標

- ・他団体、グループと橋を築き、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行ない、学び合う。

● 活動報告

今年度は、他団体と共催や協力という形で活動を進めた。まず、非核の政府を求める兵庫の会との共催で「それってどうなの？ 沖縄の基地の話。どうする？ 普天間、辺野古、そして尖閣問題」と題した学習会を催した。講師は沖縄のジャーナリスト・屋良朝博さんである。次に「災害資本主義 VS. ボランティア～今だけカネだけ自分だけでいいの？」というテーマでシンポジウムを行なった。被災地 NGO 協働センターとの共催で、神戸大学名誉教授・岩崎信彦さんに基調講演をしていただいた。2017年2月4日には、原爆の岡丸木美術館学芸員・岡村幸宣さんの講演会を、非核の政府を求める兵庫の会と協力して催した。3月20日には親睦会を兼ねて新年度のピース・ブリッジの活動を考える会を持った。平和構築活動をするためには、同じ志を持つ他団体やグループと手を繋ぐことが重要なので、今後も文字通り「ピース・ブリッジ」を紡いでいきたいと考えている。

● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
2017年3月20日	第1回ミーティング (元町の飲食店にて)	2016年度のふり返りと新年度の計画 (懇親会も兼ねて)	7	7	7

*連絡や話し合いはメールや電話で行なうことにしている。

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
9月3日	それってどうなの？ 沖縄の基地の話。どうする？ 普天間、辺野古、そして尖閣問題 (兵庫県保険医協会会議室)	講演会。非核の政府を求める兵庫の会と共催。	屋良朝博 (ジャーナリスト)	48
10月29日	「今だけカネだけ自分だけ」でいいの？ —『災害資本主義』とリスクマネジメント、そしてボランティア (神戸市青少年会館 レクリエーションホール)	シンポジウム。被災地 NGO 協働センターと共催。	基調講演：岩崎信彦 (神戸大学名誉教授) 報告1：頼政良太さん (被災地 NGO 協働センター代表) 報告2：村井雅清 (被災地 NGO 協働センター顧問) 総括コメント：池田清 (松蔭女子学院大学教授)	35
2月4日	非核芸術のお誘い (兵庫県保険医協会会議室)	講演会。非核の政府を求める兵庫の会主催 イベントに協賛。	岡村幸宣 (原爆の岡丸木美術館学芸員)	46
延参加人数 (全3回)				129

被災者支援プロジェクト

代表 鶴崎祥子
メンバー 6人
担当職員 西本玲子

● 活動方針・目標

- ・長期的視点にたって、福島およびその近隣県の放射能被災下に留まらざるを得ない方たちの必要に応える活動を実施する。
- ・一方的な支援活動に留まるのではなく、被災者自身の活動や広がりとなるようにプログラムへの工夫を行なう。

- ・放射能被災下の現状は刻々と変化しており、その問題の側面も多岐にわたる。継続的に福島の現状について学ぶことが必要であり、そのために様々な分野で福島に関わる方々から学ぶ時をもつ。また福島訪問も実施したい。

● 活動報告

今年度も引き続き福島およびその近隣県の高放射線量下に留まらざるを得ない人たちへの支援を行なった。日本YWCA被災者支援 com7300 と協働する「セカンドハウス・プログラム」を今年度も実施。全体コーディネートも行なった。家屋を提供してくださった大家の皆様感謝である。神戸YWCAの担当するセカンドハウス (場所：西明石) は、全国3箇所 (横浜、名古屋、神戸) のひとつで、今年度は6家族18人が利用した。利用者の方々と夕食会などを実施し、福島で生活する現状や言いにくい思いを語ってもらった。また利用前と利用後には、寝具の洗濯やセッティング、室内の清掃を行なう「おそうじし隊」が協力して活動した。セカンドハウスの特徴は、一度ひとつのセカンドハウスを利用すると何度もリピートしてくれることだ。今回の6家族も数年来の関わりを続けている人たちである。来年度も引き続き「県外のもうひとつの家」を維持していきたい。

8月27日 (土) 「チェルノブイリ原発で私がみたもの、きいたこと、感じたこと～福島の未来、わたしたちの未来～」と題して、ウクライナを旅した島村藍さんから、30年たった今のチェルノブイリの現状を多くの写真を通して語っていただいた。今後、神戸YWCAが福島に対してどう関わっていけばいいかを示唆された。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月6日	第1回 ミーティング	今までの活動経緯や内容の確認 講演会の提案と検討	4	13 (全3回)	4
7月1日	第2回 ミーティング	代表の選出 講演会の詳細検討	4		
12月22日	第3回 ミーティング	2016年度活動報告の件 2016年度収支報告の確認 2017年度活動計画の件	5		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	利用者
7月27日～30日	セカンドハウス・プログラム (西明石)	福島及びその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れ	1家族4人
8月8日～21日	セカンドハウス・プログラム (西明石)	〃	1家族4人
10月7日～10日	セカンドハウス・プログラム (西明石)	〃	1家族2人
12月22日～28日	セカンドハウス・プログラム (西明石)	〃	2家族5人
12月29日～1月3日	セカンドハウス・プログラム (西明石)	〃	1家族3人
延参加人数 (全5回)			18
利用都度	セカンドハウス／お掃除し隊 (西明石)	セカンドハウス利用の前後で、住居の掃除と寝具等の選択を実施(全6回)	参加メンバー 延19
利用都度	セカンドハウス／利用者夕食会 (西明石)	セカンドハウス利用者との交流食事会 (全5回)	参加メンバー 延16
延参加人数 (全2プログラム)			35
8月27日	講演会「チェルノブイリ原発で私がみたもの、きいたこと、感じたこと～福島の未来、わたしたちの未来～」(神戸YWCA本館)	講演：島村 藍 原発事故後30年が過ぎた チェルノブイリへの訪問報告。	29

Ⅱ . 国際理解・多文化共生事業

国際相互支援部

代表 小野木愛
メンバー 4人
担当職員 秋月啓子

● 活動方針・目標

- ・勉強会、他団体のプログラムなどに参加し、難民問題について学ぶ。学びから自らの人権意識の問いなおしを図る。
- ・地域社会、世界で起きている事々を見る目を養い、具体的な活動につながるよう検討する。
- ・世界のYWCAからの要請（緊急支援など）に応える。

● 活動報告

4月16日の「世界YWCAデー」には18人が参加。京都YWCA職員の堀部碧さんをお招きし、世界YWCA総会報告と、京都YWCAの取り組みについて話していただいた。YWCAは世界に繋がっていることを改めて実感。会員が久しぶりに顔を合わせ、一般の方にもYWCAの拡がりを知ってもらいよい機会となった。

難民勉強会では、6月10日に神戸YWCA学院日本語コースで学ぶノルウェー人学生のマリエ・カワサキ・ラドスタインさんを招き、ノルウェーでの難民事情について話していただいた。参加者10人。支援プログラムや、国民の反応、10代のマリエさんの意見等、生の声を聞くことができ、大変わかりやすく身近に感じられる勉強会となった。

他に、ロヒンギャ難民について、メンバーが講師となり勉強会を行なった。

今年度のTaste the World (TTW) は、ママ日本語クラスに参加されている李安琪（リ・アンチ）さんをお招きした。アンチさん手作りの客家料理を堪能しながら、歴史、文化、習慣等、台湾客家文化について話を伺った。外国にルーツを持つ方との交流は今後も続けたい。

● 活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月9日	第1回部会	4/16世界YWCAデーの振り返り 今年度の予定	4	43 (全9回)	4
6月10日	第2回部会	Taste the World (TTW) について	4		
7月11日	第3回部会	マリエさん勉強会について	5		
9月26日	第4回部会	TTW、勉強会について	4		
10月31日	第5回部会	ロヒンギャ勉強会	5		
12月5日	第6回部会	TTWについて(シリア案と客家案)	6		
12月19日	第7回部会	TTWについての打ち合わせ	5		
1月16日	第8回部会	TTWの段取り	5		
2月4日	第9回部会	TTWの確認、準備	5		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月10日	マリエさんに聞く ノルウェーの難民事情	難民問題についての勉強会	マリエ・カワサキ・ラドスタイン (神戸YWCA学院日本語コース学生)	10
2月4日	Taste the World 世界の料理を食べよう!	台湾客家文化を知ろう!!	李安琪(リ・アンチ) (神戸YWCA学院日本語コース ママ日本語クラス受講生)	18
延参加人数(全2プログラム)				28

IWA (International Women's Assistance)

代表 モーア・アン
メンバー 5人

● 活動方針・目標

- ・在住外国人の生活支援を行ない、日本での生活がしやすくなるようにサポートする。
- ・外国人が日本の言葉や文化にふれる場を提供し、共に生きる社会を目指す。

● 活動報告

IWAは2008年にスタートし、今年で9年目を迎える。メンバーの都合もあり、今年はゆったりとメンバー同士の交流や学習に力を入れることになった。運営メンバーのミーティングも2ヶ月に1回にした。

おしゃべりパートナーを通して様々な事を学んだ。おしゃべりパートナーに関わる外国人は、日本語そのものも含む多くの悩みを抱えている。ご本人の背景により異なるが、子育てや文化の違い、習慣、人との関

わり方などにおいて困難がある。ある外国籍のカップルは、子どもの進路について国際学校か日本の学校かの選択で深刻に悩んでいる。また日本人の配偶者を持つ外国人は文化の違いなどから不信感をもち、寂しく単調な日常生活になっている。

おしゃべりパートナーは、おしゃべりの聞き手となり、情報のシェア、日本語練習、居場所にもなっている。おしゃべりパートナーの働きは一言ではまとめきれない。IWAの活動は外国人との橋渡しとコミュニティのグローバル化にもつながる。

1月に入ってから、メンバーで集まり、これからのIWAについて具体的に議論した。それに伴う活動の振り返りやYWCAでのIWAの望ましいあり方なども話し合った。

● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
4月9日	第1回ミーティング (会員宅)	年間スケジュール、プログラムなど確認	4	27 (7回)	4
6月3日	第2回ミーティング (神戸市青少年会館)	ボランティアおよびプログラム参加者への支援について	4		
7月27日	第3回ミーティング (会員宅)	おしゃべりパートナーの現状報告と今後について	4		
9月2日	第4回ミーティング (神戸市青少年会館)	おしゃべりパートナーの現状報告と今後について	3		
11月4日	第5回ミーティング (神戸市青少年会館)	IWA活動報告と現状報告と次年度の活動について	3		
12月21日	第6回ミーティング (会員宅)	今年度活動の振り返りと次年度活動について	5		
1月27日	第7回ミーティング (会員宅)	IWA活動の今後について検討	4		

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	参加人数
4月9日	お花見ランチ (会員宅)	お花見弁当を楽しむ交流会	4
4月～12月	おしゃべりパートナー	日本語を通しておしゃべりパートナーになり、外国人のニーズを知り、生活情報提供、日本での暮らしをサポート(延29回実施)。	61
7月、8月、9月	生活支援	必要な情報提供、または連絡等(延4回実施)	12
12月9日	IWA交流会	クリスマス会(お料理を持ち寄り、交流会)	5
	GONGO会議 (神戸国際協力交流センター)	外国人相談窓口担当者連絡会(年6回)	4
延参加人数(全5プログラム)			82

Ⅲ．地域福祉事業

地域福祉部

代表 井上みち子、小川佐由理
メンバー 5人
担当職員 西本玲子

● 活動方針・目標

- ①分室の地域交流スペースとしての活用・運営
- ・分室の目的、情報発信のあり方(概要パンフやHP、掲示板)、維持管理の安定的経営(料金値上げ、参加費計上など)等を含めた中期計画を作り、実施していく。
- ・助成申請を行ない、計画の実現をはかる。
- ・各グループの課題などを出し合い、解決に向かうようにする。
- ②情報発信誌「わいわい通信」は年1回の発行とする。
- ③ボランティア交流会～互苦労さん会の開催

● 活動報告

持続可能な分室活動とするために、他NPO団体（明舞ひまわり、東灘助け合いネットワーク、リーフグリーン）を見学。報告と話し合いを重ね、改善策を作り、実現をめざしてきた。

「木曜カフェ」では、連携団体と協力して、地域への発信を行なった。毎週「いちじま丹波太郎」（野菜販売）と「えんびつの家」（食パン販売）、第2週に「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」（乾物や調味料販売）、第4週に「中央むつみ会」「シティライト」（焼き菓子や無添加食品販売）が来訪。有機野菜や食パンを待つ地域の方が徐々に増えている。待合スペースでは、盛夏に連携団体の「お話を聞く会」を実施したり、平和活動部メンバー等が憲法紙芝居を行なったりした。みなとあすかさんのイラストはがきは常時販売している。こだわりのプログラムを気軽に見聞きできる場として、グループや会員、個人に使ってもらいたい。

本館のリサイクルショップ「ふるふる」に替わり、地域のお店「くるくる」は、地域の人が立ち寄る事業として新たに企画運営を始めた（平成28年度中央区赤い羽根地域づくり助成事業）。丁寧な生き方を目指し、子どもや若い女性の服、アクセサリーのお店として12月15日に開店し、以降第3木曜に開いてきた。今後も広報に努め、品物集めや担う人募集も行なう。「くるくる」開店を機に分室広報のため大看板と幟を作った。

「わいわい通信26」は、持続可能な分室活動のために行なったNPO団体見学や新事業の取り組み等を特集「地域交流スペースのステップアップ」と題し、編集した。

2年ぶりに分室で開催した「互苦労さん会VI」には24人が集い、新総幹事を激励し、分室活動の更なる充実を誓い合った。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月27日	第1回部会	2016方針と事業計画の確認・具体化について	7	60人 (全9回)	6
7月22日	第2回部会	2016バザー、ランチ改善プロジェクトについて	8		
8月19日	第3回部会	ランチプロジェクト報告、助成事業申請、本館バザーについて	7		
9月16日	第4回部会	助成事業の意義、内容について	6		
10月14日	第5回部会	「地域のお店」リーフレット作り、出店に向けて等	8		
11月11日	第6回部会	「地域のお店くるくる」リーフレット校正、出店に向けて等	7		
12月21日	第7回部会	「わいわい通信26」2月発行に向けて、活動報告案検討等	7		
2月9日	第8回部会	「わいわい通信26」特集原稿検討	5		
3月29日	第9回部会	「わいわい通信26」発送作業	5		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数
4月21～3月30日 (42回)	木曜カフェ	地域の人々が気軽に立ち寄るスペースにしたい。コーヒー、紅茶あり。有機野菜、パン、焼き菓子、無添加調味料、乾物等の販売も。連携団体のお話、憲法紙芝居の上演などを行なった。	コーヒー&紅茶：240杯 ガレージ出店 (いちじま丹波太郎、連携団体)への来店：364
12月15日 1月19日 2月16日 3月16日	地域のお店「くるくる」 *平成28年度中央区赤い羽根地域づくり助成事業	「使い捨てをしない、丁寧な生活」をモットーに、子ども服と女性服、アクセサリー等を集め、適切に提供するスペースを第3木曜に開く。	12月：13 1月：21 2月：9 3月：10 計：52
延参加人数（全2プログラム）			656

わいわいランチ

代表 井上みち子
メンバー 40人
アルバイトスタッフ 井上早苗、長江麻紀

● 活動方針・目標

昼食の配食サービスを行なうことで、ひとり暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がいをもつ方が、住みなれた地域で、これまでの暮らしを続けていけるように食生活面から支える。

● 活動報告

分室を拠点に、毎週月～金曜日に高齢者に昼食のお弁当を届けて満19年となった。利用者の8割は80代～90代。特に一人暮らしの方には、お顔を見ての受け渡しや声かけを心がけてきた。「いつも楽しみにしていますよ」「薄味でおいしい。心がこもっていて有難いです」等の利用者の一言が活動の励みになっている。

配食数（4～3月）は、昨年より1,563食増え6,316食であった（1日平均27食／昨年度20.5食）。因みに2013年度は6,414食、ここ3年の大幅な減少傾向をほぼ止めたようである。

2016年度は収支悪化の改善のみでなく、持続可能な活動をめざして、地域福祉部やランチ改革プロジェクトで議論し改善計画をつくった。「明舞ひまわり」の活動を現地に学んだり、ホテル経営や地域活性化を手掛けた知人にアドバイスを求めた。地域福祉部から本館職員や会員にお弁当をすすめたり、あんしんすこやかセンター等にちらしを置いたり、賞味期限の表示、利用者への月メニュー配布、新容器の採用等を行なった。その効果が出て、ランチでは昨年比33%増の食数になり、全食数でも23%増となった。

新年度からは、新プラ容器への全面切り替えに弁当代（みそ汁なし）を650円とし、3月初旬から利用者へ周知してきた。新ランチのチラシを配布し、さらに利用者増加をはかっていきたい。配膳、配達ボランティアも高齢化。運転できる人や車に乗れる人を常に大募集中である。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA分室)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月9日	木曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	7	45人 (全6回)	7人
6月10日	金曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	7		
6月13日	月曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	9		
6月14日	火曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	8		
6月15日	水曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	8		
12月6日	調理者ミーティング	新たな献立作成体制、調理者マニュアル作成、緊急時交替・連絡について、新ガス釜使用等	6		

月	配食日数	ランチ配食数	全配食数*	参加ボランティア（延/月）
4月	20	509	748	150
5月	19	490	719	141
6月	22	541	832	171
7月	20	522	806	148
8月	18	491	750	133
9月	20	563	848	152
10月	20	565	872	150
11月	20	572	822	149
12月	16	445	663	119
1月	17	469	719	127
2月	20	542	814	142
3月	22	607	914	167
合計	234	6,316	9,507	1,749

*全配食数：ランチ配食、会食、グループ活動での昼食、ボランティア食事、本館など

開催日	プログラム (神戸YWCA分室)	主な内容	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
毎月 第3金曜日	金曜食事会	在宅生活を送る高齢者が集い、共に会食する場の提供	98 (12回)	8

わいわいデイルーム

代表 高原佐美（音楽療法士）
メンバー 10人

● 活動方針・目標

- ・外出の機会が少ない高齢の方々（同居、独居を問わず）を対象に、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを考えたデイサービス・プログラムを実施する。また、専門職による介護予防の視点に立ったプログラムを通し、健康や本人のもつ能力の維持、向上に努める。
- ・わいわいデイルームの活動を広報し、参加者を増やす。

● 活動報告

毎週火曜日に神戸YWCA分室で実施している。利用登録者は現在3人で少人数ではあるが、密に参加者の方々に対応でき、家庭的な雰囲気でのデイルームである。

介護予防プログラムでは、音楽療法士によるプログラムが大きな特徴のひとつである。その他にも、書道やクラフトづくり、理科実験などバラエティに富むよう工夫している。また初夏と秋に実施する外出プログラムは、利用者の方のみならずメンバーも、ぐっと気分が変わることから好評である。

当プログラムは市の委託を受けた「生きがい対応型デイサービス」事業だが、2017年度から制度改正により「地域拠点型一般介護予防事業」に移行する。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				利用者	ボランティア
4月5日	第1回 わいわいデイルーム	季節の作品づくり、塗り絵	後藤あけみ	4	5
4月12日	第2回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (無限鏡づくり)	海妻彦之 井上みち子	2	6
4月19日	第3回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	3	5
4月26日	第4回 わいわいデイルーム	健康講座(介護保険や高齢者施設の 解説、体操等)	高橋瑞枝 谷合公江	4	8
5月10日	第5回 わいわいデイルーム	クラフトづくり(貝殻細工)	後藤あけみ	4	5
5月17日	第6回 わいわいデイルーム	俳画(はがき)	入江徹	4	7
5月24日	第7回 わいわいデイルーム	健康講座(熱中症、認知症の解説等)	高橋瑞枝	4	7
5月31日	第8回 わいわいデイルーム	パズル、知恵の輪づくり	青柳正	4	6
6月7日	第9回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (扇子づくり、塗り絵等)	後藤あけみ	4	7
6月14日	第10回 わいわいデイルーム	知恵の輪作り、工作等	青柳正	3	7
6月21日	第11回 わいわいデイルーム (ザ・プレイス)	わいわい科学クラブ (チーズ、バターづくり)	海妻彦之 井上みち子	4	8
6月28日	第12回 わいわいデイルーム (新神戸中納言)	外食プログラム	高原佐美 川上和恵	3	8
7月5日	第13回 わいわいデイルーム	知恵の輪、七夕短冊づくり	青柳正	3	6
7月12日	第14回 わいわいデイルーム	健康歯科講座	池端歯科医院	2	6
7月19日	第15回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	2	6
7月26日	第16回 わいわいデイルーム	健康講座 (夏場の栄養と水分の取り方)	高橋瑞枝	2	6
8月2日	第17回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (置物づくり)	後藤あけみ	3	7
8月9日	第18回 わいわいデイルーム	盆踊り、体操	谷合公江	3	8
8月23日	第19回 わいわいデイルーム	健康講座 (フラダンス)	谷合公江 高橋瑞枝	2	7
8月30日	第20回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	1	7
9月6日	第21回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (ティッシュケース、塗り絵)	後藤あけみ	3	7
9月13日	第22回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (万華鏡づくり)	海妻彦之 井上みち子	3	7

9月27日	第23回 わいわいデイルーム	健康講座 (健康に関するクイズや解説)	高橋瑞枝	3	6
10月4日	第24回 わいわいデイルーム	クラフトづくり(小物づくり、塗り絵)	後藤あけみ	3	5
10月11日	第25回 わいわいデイルーム	脳トレゲームづくり (立体型パズル等)	青柳正	2	6
10月18日	第26回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	3	6
10月25日	第27回 わいわいデイルーム	健康講座(脳の話、健康体操)	高橋瑞枝 谷合公江	4	7
11月1日	第28回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (干支のティッシュケース)	後藤あけみ	3	6
11月8日	第29回 わいわいデイルーム	音楽によるワークショップ (ストレッチ、楽器奏、歌、回想など)	川上和恵	2	6
11月15日	第30回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	3	5
11月22日	第31回 わいわいデイルーム (ホテル北野プラザ六甲荘)	外出プログラム	高原佐美、 川上和恵 高橋瑞枝 谷合公江	3	7
11月29日	第32回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (折り紙を使った作品づくり)	徳岡和美	3	6
12月6日	第33回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (フェルトのクリスマスツリー)	後藤あけみ	3	5
12月13日	第34回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (万華鏡づくりパート2)	海妻彦之 井上みち子	3	7
12月20日	第35回 わいわいデイルーム	クリスマス会 (楽器演奏、歌、ビンゴゲーム等)	高原佐美 川上和恵 高橋瑞枝 谷合公江	2	9
1月10日	第36回 わいわいデイルーム	クラフトづくり(巾着づくり)	後藤あけみ	3	7
1月17日	第37回 わいわいデイルーム	ゲーム大会	青柳正	2	5
1月24日	第38回 わいわいデイルーム	健康講座 (神経の仕組み、相談等)	高橋瑞枝	2	6
1月31日	第39回 わいわいデイルーム	レクリエーション (さいころゲーム、知恵の輪等)	青柳正	1	6
2月7日	第40回 わいわいデイルーム	クラフトづくり (ひな祭りにちなんだ作品)	後藤あけみ	2	7
2月14日	第41回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	3	7
2月21日	第42回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	3	8
2月28日	第43回 わいわいデイルーム	健康講座 (歯のみがき方の指導)	高橋瑞枝	3	6
3月7日	第44回 わいわいデイルーム	クラフト作り (TV等のリモコン立て)	後藤あけみ	3	5
3月14日	第45回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (液体を使った実験と塗り絵)	海妻彦之 井上みち子	3	6
3月21日	第46回 わいわいデイルーム	パズルゲームと折り紙	青柳正	2	4
3月28日	第47回 わいわいデイルーム	健康講座 (脳トレパズル、健康講座)	高橋瑞枝	3	7
延参加人数(全47回)				134	301

*9月20日は台風のため休み

わいわい亭

代表 三浦啓子
メンバー (食事会)6人 (歌の会)5人

● 活動方針・目標

在宅生活を送る高齢者に、栄養ある食事と楽しく過ごせる居場所を提供し、住み慣れた地域で豊かな暮らしを長く続けられるようにサポートする。

● 活動報告

分室で毎月第2、第4水曜日、ひとり暮らし世帯の高齢者を対象に昼食会を実施。12月はクリスマス会を

3月15日	第11回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	8
延参加人数（全11プログラム）				87

* 10月は市営住宅の都合により休会

ちゃいやはらんど

代表 宮田泰子
メンバー 5人

● 活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもを持つ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援。
- ・参加者とともに親と子どもが楽しく集える場を作る。
- ・地域や社会に開かれた「ちゃいやはらんど」とする。

● 活動報告

ちゃいやはらんどの活動は通常、隔週水曜日（月2回）を基本として開催。就学前の子どもたちと親が11時～15時を活動時間とし、自由に過ごす集まりとなっている。午後には、幼稚園から降園してきた兄弟が合流してにぎやかな集いとなった一年だった。

夏・冬・春など幼稚園・学校の長期の休みには兄弟と共に楽しんだ。「作ろう会」（興味のあるものをつくりするプログラム）ではいちご大福、マリネ、フルーツポンチ等を、また季節ごとには七夕飾り、ガレージのプール遊び、クリスマスなどを楽しんだ。また夏休みには初めての取り組みとして、メンバーが当番で通常オープン以外に自由に開館の日を設定し、暑い盛りの居場所とする取り組みができた。参加者はそれぞれにできることで積極的に活動を進め、良い仲間作りができていたが、その反面参加者が固定化し新たな参加を得ることができなかつた。次年度はいろいろな機会を通して、新たな参加を図る取り組みを考えたい。子育て中や幼稚園入園などへの情報や悩みなどを考えたいとセミナーなども計画している。次年度も子どもの成長に合わせいろいろな取り組みをしていきたい。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	活動対象者		その他		総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
4月6日	第1回ちゃいやはらんど (神戸YWCA本館)	つくろう会(いちご大福) 講師:田中	6	9	3	3	21
4月20日	第2回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	5	7	3	4	19
5月18日	第3回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	4	5	2	3	14
6月1日	第4回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	7	11	3	4	25
6月15日	第5回ちゃいやはらんど	つくろう会(マリネづくり) 講師:田中	3	7	2	3	15
6月29日	第6回ちゃいやはらんど	つくろう会(マリネづくり) 講師:田中	5	8	1	3	17
7月6日	第7回ちゃいやはらんど	七夕飾り	7	13	1	4	25
7月20日	第8回ちゃいやはらんど	つくろう会(フロートづくり) 講師:田中 プール遊び	7	13	2	4	26
7月22日	第9回ちゃいやはらんど	夏休みスペシャル	3	5	2	2	12
7月29日	第10回ちゃいやはらんど	夏休みスペシャル つくろう会(フルーツポンチ)	1	1	1	2	5
8月1日	第11回ちゃいやはらんど	夏休みスペシャル	3	6	0	0	9
8月26日	第12回ちゃいやはらんど	夏休みスペシャル	3	6	0	1	10
8月31日	第13回ちゃいやはらんど	つくろう会(かき氷) マッサージ(手) 講師:岸本	5	8	2	3	18
9月7日	第14回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	5	8	1	3	17
9月21日	第15回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	3	6	0	2	11
10月5日	第16回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	6	8	1	4	19
10月19日	第17回ちゃいやはらんど	ハロウィン準備	4	6	1	4	15
10月29日	第18回ちゃいやはらんど (分室地域)	ハロウィン	15	17	5	7	44

11月2日	第19回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	2	3	1	3	9
11月16日	第20回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	4	6	1	3	14
11月30日	第21回ちゃいやはらんど	クリスマスツリー飾りつけ	2	3	1	3	9
12月21日	第22回ちゃいやはらんど	クリスマス・手づくりケーキ 講師:田中	6	10	1	3	20
1月6日	第23回ちゃいやはらんど	新年会	2	3	2	4	11
2月1日	第24回ちゃいやはらんど	節分の豆を食べる ぜんざいを食べる	2	3	1	4	10
2月15日	第25回ちゃいやはらんど	おしゃべりママの会	3	4	1	4	12
3月1日	第26回ちゃいやはらんど	つくろう会(いちご大福) 講師:田中	5	8	2	4	19
3月15日	第27回ちゃいやはらんど	おもちゃの整理	3	5	1	4	13
3月27日	第28回ちゃいやはらんど	春休みスペシャル	3	5	1	1	10
3月29日	第29回ちゃいやはらんど	お姉さんと遊ぼう	3	5	2	5	15
延参加人数（全29プログラム）			127	199	44	94	464

夜回り準備会

代表 鍋谷美子
メンバー 9人

● 活動方針・目標

活動規模としては年々縮小している。対象者も減り、活動できるメンバーも多くはない。今年度はその活動を維持していくことが最低限の目標ではある。ただ、病院訪問のように現実的に担えるメンバーがいないときは休止している活動もある。

メンバーの中で、夜回りから派生してそれぞれのおかれている労働環境や日常で感じる差別について話すことがある。そういったことをもう少し深められるような学習や話し合いの場を、小さくても持てれば良いと思う。報告書作成も、できる限り続けて、小さくても発信していければと考えている。

● 活動報告

毎月第2、第4土曜日の18時30分から、王子公園、摩耶インター付近、青木周辺等、数ヶ所で野宿している人々への訪問等を行なう夜回りと、月1回のミーティングを実施している。訪問時には、野宿している皆さんの体調、仕事の状況等近況を聞き、おにぎりやパンといった食料品を渡すと同時に、必要な支援を受けられるように、炊出しやその他情報を記載したビラを渡している。

本年度は、夜回りに参加できるメンバーが少なくなってきたものの、途切れることなく夜回りを実施することができた。また更生センターの見学会、神戸市で用いることができる社会福祉制度等を知るための勉強会等を実施できた。また摩耶インター付近に暮らす方とコンタクトを取ることができ、新たな夜回り先とした。

年度末に立て続けに追い立てと体調不良のため、居宅保護になったり入院になったりし、訪問先の方が二人減っている。それぞれ、本人の希望を聞き、家探しを手伝ったり、入院先で必要なことを手伝ったりした。

来年度は今年度同様、夜回りを継続して実施し、勉強会の機会等を持つことを通じて、野宿している人の生活の支援と自分たち自身の問題意識に少しでもつなげることができればと考えている。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	夜回り先件数 ()は出会った人数	参加人数
4月9日	第1回 夜回り	灘、東灘地域で野宿生活をしている人の訪問活動。その人が望むようなかたちで暮らすことの手伝いをしたいと考えている。	6(5)	3
5月14日	第2回 夜回り	〃	6(4)	5
5月28日	第3回 夜回り	〃	6(4)	2
6月11日	第4回 夜回り	〃	6(3)	4
6月25日	第5回 夜回り	〃	6(4)	3
7月9日	第6回 夜回り	〃	6(4)	3

7月23日	第7回 夜回り	〃	6(4)	3
8月13日	第8回 夜回り	〃	6(4)	4
8月27日	第9回 夜回り	〃	6(3)	4
9月10日	第10回 夜回り	〃	6(3)	4
9月24日	第11回 夜回り	〃	6(3)	2
10月8日	第12回 夜回り	〃	6(4)	4
10月22日	第13回 夜回り	〃	6(3)	4
11月12日	第14回 夜回り	〃	6(3)	2
11月26日	第15回 夜回り	〃	6(3)	4
12月10日	第16回 夜回り	〃	6(3)	2
12月24日	第17回 夜回り	〃	6(4)	4
1月14日	第18回 夜回り	〃	6(4)	4
1月28日	第19回 夜回り	〃	6(4)	3
2月11日	第20回 夜回り	〃	6(4)	4
2月25日	第21回 夜回り	〃	6(4)	3
3月11日	第22回 夜回り	〃	6(4)	2
3月25日	第23回 夜回り	〃	6(4)	3
延参加人数 (全23プログラム)			138 (85)	76

開催日	プログラム名 (場所)	テーマ・主な内容	訪問先件数 () は出会った人数	参加 人数
5月14日	更正センター見学 (神戸市中央区)	野宿している人を対象とした神戸市の施設 更生センター・更生援護相談所を訪問し、 神戸市の「ホームレス」対策の実情をしる。	なし	5
11月6日	神戸でできること 勉強会 (神戸市青少年会館)	野宿している人に出会った時、実際にどうすれば いいか、何ができて何ができないか考える ワークショップ	なし	6
12月29日	越冬 (東遊園地)	越年活動「神戸冬の家」に参加 (12月29日担当)	約200人	15
3月29日	病院訪問 (日赤病院)	退院してのち帰る家のない人を訪問し、 治療の専念やその後の暮らしにつながるように 手伝えることをする。	1(1)	2
3月29日	保護申請 (灘福祉)	保護申請の支援	1(1)	2
延参加人数 (全5プログラム)				4

声の奉仕

代表 高橋晶子
メンバー 17人

● 活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行なう。技術向上のため月2回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している日本赤十字社兵庫県支部声の図書赤十字奉仕団(以下「日赤声奉仕団」)を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送する。

● 活動報告

毎月第2、第4火曜日に例会を持ち、永田俊子・健支講師のご指導のもと、朗読の学習を行なっている。
日赤声奉仕団が製作する声の月刊誌「花時計」8月号、1月号、季刊誌「つちのこ」春・秋号の製作を担当。
毎月「PHP」担当箇所の朗読・録音および4月、11月号の編集作業、「日赤声のアルバム」発行、CD製作とモニターを行なっている。単行図書2冊を録音、デジター図書にして貸し出しを行なっている。また日赤声奉仕団に役員(副委員長)を選出・派遣し、役員会、運営委員会、デジター図書ミーティングなど各専門部例会に参加した。

毎年恒例の利用者との交流会を11月23日に実施(日赤声奉仕団行事)。リスナー、同行者、団員など177人参加。リスナーから「楽しんで『声の図書』を聴いている」などうれしい意見が寄せられた一方、「もっと気楽な本を聴きたい」「録音者によって音量が変わるので、録音の際もっと音量調整してほしい」などの指摘もあり、今後、一層努力してよりよいものを作成したい。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
4月12日	第1回例会、勉強会	日赤委員会報告、朗読勉強	永田	11
4月26日	第2回例会、勉強会	日赤総会報告、「花時計8月号」企画、朗読勉強	永田	10
5月10日	第3回例会、勉強会	「花時計8月号」企画、朗読勉強	永田	12
5月24日	第4回例会、勉強会	「花時計8月号」企画、朗読勉強	永田	14
6月14日	第5回例会、勉強会	日赤委員会報告、「花時計8月号」企画、朗読勉強	永田	10
6月28日	第6回例会、勉強会	花時計8月号企画、朗読勉強	永田	12
7月12日	第7回例会、勉強会	交流会企画、花時計8月号企画、朗読勉強	永田	15
7月26日	第8回例会、勉強会	花時計8月号試聴、朗読勉強	永田	12
9月13日	第9回例会、勉強会	日赤委員会報告、交流会準備報告、朗読勉強	永田	13
9月27日	第10回例会、勉強会	花時計1月号企画、朗読勉強	永田	9
10月11日	第11回例会、勉強会	日赤委員会報告、花時計1月号企画、朗読勉強	永田	11
10月25日	第12回例会、勉強会	交流会準備報告、花時計1月号企画、朗読勉強	永田	15
11月8日	第13回例会、勉強会	交流会準備報告、花時計1月号企画、朗読勉強	永田	14
11月22日	第14回例会、勉強会	交流会準備報告、花時計1月号企画、朗読勉強	永田	11
12月13日	第15回例会、勉強会	日赤委員会報告、花時計1月号企画、朗読勉強	永田	12
1月10日	第16回例会、勉強会	朗読勉強	永田	12
2月14日	第17回例会、勉強会	日赤委員会報告、花時計7月号企画、朗読勉強	永田	10
2月28日	第18回例会、勉強会	花時計7月号企画、朗読勉強	永田	9
3月14日	第19回例会、勉強会	花時計7月号企画、朗読勉強	永田	10
3月28日	第20回例会、勉強会	校正勉強		12
延参加人数 (全20回)				234

開催日	プログラム、イベント名 (場所)	テーマ、主な内容	参加 人数
12回程度	声の情報誌「花時計」の製作 (日赤兵庫県支部、各自宅)	約60分のデジターCDの録音、編集、校正など	74
36回程度	声の情報誌「つちのこ」の企画/製作 (日赤兵庫県支部、各自宅)	デジターCDの企画、録音、編集、校正など	78
18回程度	「PHP」担当箇所の録音 (日赤兵庫県支部、各自宅)	月刊誌「PHP」の担当箇所の録音	36
6回程度	「PHP」の全編編集(デジター化) (日赤兵庫県支部)	日赤声奉仕団の各グループが録音したものを編集	12
11月23日	リスナーとの交流会 (日赤兵庫県支部)	(日赤声奉仕団行事)リスナーとの交流	8
11月15日	(小中学校)学校講習 (各学校)	(日赤声奉仕団行事) 点字や視覚障がい者へのサポート方法を指導	1
30回程度	日赤声奉仕団の運営委員会、朗読勉強会、 デジター班・朗読音訳を見直す会・点字班・ 単行図書検討会の各例会など (日赤兵庫県支部)	日赤声奉仕団の活動等に関する会議 朗読勉強会	40
延参加人数 (全7プログラム)			249

づく居宅介護及び同行援護、神戸市地域生活支援事業の移動支援、神戸市産後ホームヘルパー派遣、神戸市養育支援ヘルパー派遣、神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣（ほっとヘルプサービス）、介護保険外サービス等により支援する。

- ・質の高いサービスを提供できるよう職員の質の向上に努める。
- ・介護支援専門員との連携を密にし、多職種との連携にも努める。

● 事業報告

訪問介護事業所では介護保険サービス、障害福祉サービス（居宅支援、同行援護、移動支援）、産後ホームヘルプサービス、ほっとヘルプサービス、保険外サービス等の多様なサービスを提供している。サービス提供責任者7人・登録ヘルパー約35人が活動、事業所加算Ⅱの体制を取っており、研修に力を入れてきた。事業所内の研修では、事例検討会や救急救命、調理実習、口腔ケア研修、排泄研修、感染症研修、認知症研修、在宅ホスピス研修などを毎月実施。外部研修では、神戸市シルバーサービス協会等の研修に積極的に参加することにより、職員、ヘルパーのレベルアップに努めた。処遇改善給付金を受け、職員及び登録ヘルパーの賃金に反映した。2017年度から始まる神戸市の要支援者の介護予防・日常生活支援総合事業に向けて、ひょうごん福祉ネットの団体と連携を取り、神戸市介護保険課などに提言した。今後の動きを見据えながら、まごの手の活動を検討していく必要がある。

● まごの手事務局・プログラム等

プログラム、ミーティング等（神戸YWCA本館）	在籍数	回数	延出席人数	平均数
事務局	10	12	85	7
2017年度ヘルパー登録説明会・研修会	40	2	31	15
ヘルパー交流会	40	1	16	16

● 事業データ

サービス種類			2014年度 月平均	2015年度 月平均	2016年度 月平均
居宅	居宅介護支援	件数	59.7	61.8	49.2
	介護予防支援（委託）	件数	32.6	33.0	27.7
		計	92.3	95.0	76.9
訪問	介護保険（介護給付）	利用時間数	969.5	861.0	775.9
		利用者数	63.9	61.7	55.6
	介護保険（予防給付）	利用時間数	545.0	513.9	422.0
		利用者数	83.8	81.0	70.6
	介護保険外	利用時間数	222.6	181.1	128.3
		利用者数	38.8	34.0	29.4
	障害福祉サービス（居宅介護）	利用時間数	202.2	198.3	193.3
		利用者数	18.2	18.5	17.8
	障害福祉サービス（同行援護）	利用時間数	94.1	59.1	43.4
		利用者数	8.4	6.0	4.6
	障害福祉サービス（移動支援）	利用時間数	46.9	42.7	40.8
		利用者数	5.3	5.5	4.3
産後ホームヘルパー派遣（神戸市委託）	利用時間数	64.3	55.5	52.1	
	利用者数	9.8	9.5	10.8	
養育ヘルパー派遣（神戸市委託）	利用時間数	4.0	1.7	0.0	
	利用者数	0.3	0.3	0.0	
認知症高齢者訪問支援員（ほっとヘルパー）派遣（神戸市委託）	利用時間数	79.0	69.7	24.8	
	利用者数	6.6	5.9	2.0	
利用時間数（延）計			2228.3	1982.8	1680.6
利用者数（延）計			235.1	222.3	195.1

● 研修 / 他団体関係（居宅介護支援事業所）

内容	主催	出席者数
高齢者に特有の精神症状について	中央区在宅医療	1
中央区訪問介護事業所とケアマネジャーとの連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
高齢者を支えていくための神戸市でのこれからの取り組み	神戸市介護サービス協会	1
主任ケアマネジャーネットワーク連絡会	神戸市ケアマネジャー連絡会	1
訪問看護ステーションとケアマネジャーとの交流会	中央区あんしんすこやかセンター	1

中央区ケアマネジャー連絡会	中央区健康福祉課	5
若年性認知症の人の思いと願い	カフェもぐもぐ	2
地域ケア会議（宮本地区）	新神戸あんしんすこやかセンター	1
医療と介護連携の交流会	中央区在宅医療連携	2
在宅ホスピスと医療（講師：関本雅子）	神戸YWCA 学院地域福祉コース	2
「在宅ホスピスのよさって何だろう」	中央区在宅医療連携	2
成年後見制度について	元町山手あんしんすこやかセンター	1
地域ケア会議（宮本地区）	新神戸あんしんすこやかセンター	2
地域ケア会議（二宮地区）	三宮あんしんすこやかセンター	1
認知症高齢者SOS声かけ訓練	三宮あんしんすこやかセンター	1
予防給付ケアマネジメント従事者現任者研修	神戸市介護保険課	2
介護保険集団指導	神戸市介護保険課	1
高齢者虐待・認知症・倫理についての研修会	神戸市シルバーサービス連絡会	1
ベッドサイド・ストーリーズ（講師：猪俣るか）	神戸YWCA マザーズカレッジ	1
次期介護保険の改定と介護サービス事業所の対応	神戸市シルバーサービス連絡会	2
総合事業に係わる事業者説明会	神戸市介護保険課	1
介護予防・日常生活支援総合事業に係る事業者説明会	神戸市介護保険課	1

● 研修 / 他団体関係（訪問介護事業所）

内容	主催	出席者数
中央区訪問介護事業所とケアマネジャーとの連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
訪問介護職員ステップアップ研修会	神戸市シルバーサービス連絡会	2
市民救命士講習	まごの手	12
中央区訪問介護事業所連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
精神障がいについて（講師：中央むつみ会）	まごの手	19
「在宅ホスピスのよさって何だろう」	神戸市中央区医師会	6
若年性認知症フォーラム（若年性認知症の人の思いと願い）	神戸YWCA カフェもぐもぐ	6
神戸市シルバーサービス定期総会・講演会	神戸市シルバーサービス連絡会	1
介護現場における助成金活用セミナー	介護労働安定センター	1
調理実習	まごの手	12
介護実習	まごの手	10
ヘルパー研修事例検討会	まごの手	2
口腔ケア研修、足浴、手浴、リンパマッサージ	まごの手	10
中央区訪問介護事業所連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
もっと知りたい成年後見人制度	神戸YWCA 学院地域福祉コース	9
介護予防・日常生活支援総合事業に係る事業者説明会	神戸市介護保険課	1
障害者虐待対応力向上研修	兵庫県社会福祉士会事務局	1
ひょうごん福祉ネット総会・交流会	ひょうごん福祉ネット	1
ひょうごん福祉ネット例会	ひょうごん福祉ネット	10
在宅ホスピスと医療（講師：関本雅子）	神戸YWCA 学院地域福祉コース	9
サービス提供責任者スキルアップセミナー	神戸市シルバー連絡会	2
介護保険事業者説明会（集団指導）	神戸市保険福祉局	1
居宅介護・移動支援事業者に関する説明会（集団指導）	神戸市健康福祉局	1

ほっとヘルパーサービス実施事業者連絡会	神戸市介護保険課	1
子育て支援施策と地域の関わり	神戸市こども家庭センター	1

神戸YWCA 保育園

園長	梅川玲子
主任保育士	坪田美紀
保育士（常勤）	大江麻衣、平田早貴、小林和代（6月退職）
保育士（パート）	竹田孝子、西岡奈美、西本慰子、藤原道子、松本恭子、宮田泰子、山本千代美、高見佳英（7月退職）、稲継一恵（10月退職）
管理栄養士	須山とも子
調理師	田中明香（12月退職）、大前かすみ
調理員	金山光枝（1月退職）、西川敬子、後尾裕子

●事業方針・目標

- ・小規模保育事業「神戸YWCA保育園」は、女性の自立と成長をサポートするとともに、一人ひとりの子どもの健やかな成長と幸せを実現することを目指す。
- ・保育を必要とする子どもに対して、安心安全な環境のもとでの保育プログラムを提供する。

●事業報告

- ・2016年4月1日に6人の子どもたちを迎えて、神戸YWCA保育園の第一歩をふみ出した。その後、8人、10人と子どもたちの数も増え、一時保育の子どもも定着していった。それに伴い、常勤保育士を3人に増やして手厚い保育ができるよう体制を整えた。
- ・誕生児にはおやつの時間をお祝いの会にして、手づくりのカードをプレゼントした。
- ・毎日の散歩、水遊び、異なる素材に触れる製作活動、公園の遊具を使つての身体を使った遊び、自然に触れるどんぐりひろい、園で作ったお弁当を持って公園遠足、収穫感謝の後のスープづくり、クリスマス会、参観、園児お別れ会等、たくさんの心を動かす体験を行なうことができた。
- ・野菜の皮むき、菜っ葉をちぎる、キノコを割くなど、食物に実際に触れる経験を楽しんだ。行事に寄せた食事も給食に取り入れ、みんなで味わった。
- ・連携園とも交流の機会を与えられ、子どもたちは一緒に遊び、保育士は実習やクリスマス会见学、園舎内見学で製作の案を学び、楽しい中にも実りのある繋がりが得られた。
- ・保護者に対しては毎月「園だより」、3カ月毎に「食育だより」「保健だより」を発行し、学期ごとに全員で語り合う場を設けた。今後は「保護者と共に育てる」気持ちを強くし、保育園が誰にとっても「もう一つのおうち」となるよう力を注ぐ。
- ・職員会議：毎月最終火曜日。保育終了後に開催。保育実践や子どもに関する共通理解、参加研修についての発題など。
- ・避難訓練：月1回。職員がそれぞれの役割を臨機応変に担いながら子どもたちの安全を守るための訓練を行なった。
- ・保育の質の向上のため自己評価制度を取り入れ、年3回自己目標の達成、改善点の振り返りを行なう。

●保育園園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
1歳	4	4	4	4	4	6	6	6	6	5	5	5
2歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
計	6	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10

IV . 生涯学習・人材育成事業

愛農人倶楽部

代表	大石知世子
メンバー	2人

●活動方針・目標

- ・完全無農薬有機栽培の野菜作りを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。
- ・定例会として、毎月約1回、借り農園にて農作業を実施、季節の野菜を作り収穫する。
- ・丹波篠山にて黒豆栽培を体験する。
- ・より活発な活動をめざし、メンバーをもっと増やす。

●活動報告

2016年度は神戸市道場の畑で定例会をすると共に、昨年好評だった篠山市町ノ田での丹波黒豆栽培に参加するプログラムを本年も実施した。しかし、今年度は黒豆栽培と道場の畑との両立が課題になった。メンバーの都合が合わず参加人数が少ない日や2週続けて畑に行く日もあり、両立が大変だった。道場の畑では、「マルチ」というビニールを畑に敷き、雑草を生えなくする方法で夏の作業負担を減らすことに成功した。スイカを植えたのでスイカ割りができ、参加した子どもたちにとっても好評だった。スイカと共にじゃが芋、胡瓜収穫も楽しめて収穫物で作った料理も堪能できた。また今年度はイベントチラシを何度か作成し、フェイスブックにも掲載できた。来年度は創部から25年目に入り、道場の畑の充実とプラスアルファの倶楽部の活性化を目標にしようと思っている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月29日	第1回 定例会 (道場)	夏野菜の苗植付け ◎収穫：スナップえんどう、ピーマン、パプリカ、万願寺とうがらし、ナス、トマト、カボチャ、スイカ、トウモロコシ、里芋	10
5月22日	第2回 定例会 (道場)	雑草抜き、追肥、マルチ、水やり ◎収穫：スナップえんどう	8
6月12日	第3回 定例会 (道場)	さつまいも苗植付け、雑草取り、野菜の世話 ◎収穫：玉葱、赤紫蘇	3
6月19日	黒豆栽培 (篠山)	丹波黒 (黒豆) 苗を植付け、肥料	11
7月3日	イベント：夏の収穫祭 (道場)	夏の収穫祭 & すいか割り ◎収穫：夏野菜、じゃが芋	16
7月10日	黒豆栽培 (篠山)	雑草抜きと土寄せ	7
8月7日	黒豆栽培 (篠山)	雑草抜きと水切り、追肥	7
9月22日	第4回 定例会 (道場)	大根種蒔き、ブロッコリー2種と白菜植付け ◎収穫：夏野菜収穫	9
10月23日	黒豆栽培 (篠山)	◎収穫：黒豆枝豆	7
10月30日	イベント：芋掘り (道場)	芋掘り、菊菜、タア菜植付け、小松菜、大根種蒔き ◎収穫：夏野菜、さつま芋、大根間引き菜	10
11月27日	農園主催餅つき大会 (道場)	もちつき大会	6
12月4日	第5回 定例会 (道場)	大根間引き、追肥 ◎収穫：大根間引き菜	2
1月8日	第6回 定例会 (道場)	収穫作業 ◎収穫：大根、タア菜、菊菜、白菜、ブロッコリー (一部)	4
2月25日	第7回 定例会 (コミスタこうべ)	冬の収穫祭 (鍋もの) ◎お土産：畑の大根、里芋	11
3月26日	第8回 定例会 (道場)	大根間引き、追肥じゃが芋植付け、収穫作業 ◎収穫：大根、白菜、ブロッコリー、タア菜	4
延参加人数 (全15回)			115

アフタヌーン・ティー

代表 (世話人) 郡あや子、松本よを、長野尚代、大工原則子

●活動方針・目標

- ・出会い交わりの場として学びの集いを行なう。
- ・平和、人権、多文化共生の社会などの課題を、キリスト教基盤に立つ神戸YWCAの目的、理念を具体的に表現し、社会変革の力になる。

●活動報告

今年度は7月5日「憲法の歴史～過去、現在、未来～」を憲法学者・後藤安子さんからお話を伺った。平

和憲法に守られて過ごしてきたが、憲法改正が叫ばれている中、もう一度憲法前文からともに学び合った。

10月4日(火)には「ベッドサイド・ストーリーズ～高齢者福祉の現場から～」と題して介護支援専門員・猪俣るかさんのお話を聞いた。

12月6日には「平和を願い共に平和を祈る待降節」をテーマにアドベントのアフタヌーン・ティーをもった。一部礼拝ではキリスト兄弟団神戸教会・長内慶喜牧師より「待ち望むインマヌエル」と題し、メッセージをいただいた。二部はアンサンブル詩音(コーラス)により平和を中心に選曲された歌を共に聞く事ができた。そして皆で「切手のないおくりもの」「1人の手」「讃美歌21・561番平和を求めて」を歌った。

今年度も良いプログラムをもつことができたが、参加人数はあまり多くなかった。今回で98回となったので100回まではがんばりたいと思っている。

● 活動実績

開催日	ミーティング (付記以外、神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月17日	第1回ミーティング (煉瓦館)	7月のプログラム打ち合わせ、チラシづくりなど	3	28 (全9回)	3
5月31日	第2回ミーティング	チラシの仕上げと印刷、発送作業	3		
6月6日	第3回ミーティング (JR住吉駅近辺)	講師(後藤安子さん)打ち合わせ	4		
6月21日	第4回ミーティング	プログラム当日資料印刷	3		
8月25日	第5回ミーティング	10月のプログラムチラシ作成、発送作業など	3		
10月20日	第6回ミーティング (JR住吉駅近辺)	12月のプログラム打ち合わせ、当日メッセージである長内牧師訪問	3		
11月1日	第7回ミーティング	チラシづくりと印刷作業	2		
11月22日	第8回ミーティング (三宮ステーションホテル)	当日プログラム詳細打ち合わせ	3		
11月29日	第9回ミーティング (三宮ステーションホテル)	当日プログラム詳細打ち合わせ、印刷作業など	4		

開催日	プログラム・イベント名 (すべて神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名	参加人数
7月5日	第1回 アフタヌーン・ティー	憲法の歴史 ～過去、現在、未来～	後藤安子(憲法学者)	29
10月4日	第2回 アフタヌーン・ティー	ベッドサイド・ストーリーズ ～高齢者福祉の現場から～	猪俣るか(介護支援専門員)	15
12月6日	第3回 アフタヌーン・ティー	アドベントの アフタヌーン・ティー 平和を願い ともに平和を祈る待降節	メッセージ:長内慶喜牧師 (キリスト兄弟団神戸教会) コーラス:アンサンブル詩音	45
延参加人数(全3プログラム)				89

文学講座

代表 中尾廣美
メンバー 7人

● 活動方針・目標

- ・文学、評論、思想等を先人の著書から学ぶ。
- ・「徒然草」を完結まで読む。

● 活動報告

例会は毎月(8月を除く)第3火曜日13時30分より神戸YWCA本館でもっている。京都精華大学名誉教授・笠原芳光さんの指導のもと16年間にわたり、世界・日本の文学、評論、絵画にいたるまで学んできた。しかし今年度は残念ながら、講師の体調がすぐれないため自主勉強会としてやってきた。講師の回復を祈りつつ「徒然草」を読み終え、10月からは「枕草子」を読み始めている。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月19日	第1回 文学講座	徒然草 216段まで	メンバーで自主勉強	6

5月17日	第2回 文学講座	徒然草 220段まで	メンバーで自主勉強	6
6月21日	第3回 文学講座	徒然草 230段まで	メンバーで自主勉強	6
7月19日	第4回 文学講座	徒然草 236段まで	メンバーで自主勉強	6
9月20日	第5回 文学講座	徒然草 236段まで	メンバーで自主勉強	5
10月18日	第6回 文学講座	徒然草 243段まで	メンバーで自主勉強	7
11月15日	第7回 文学講座	枕草子 8段まで	メンバーで自主勉強	7
12月20日	第8回 文学講座	枕草子 22段まで	メンバーで自主勉強	6
1月17日	第9回 文学講座	新年会		8
2月21日	第10回 文学講座	枕草子 23段まで	メンバーで自主勉強	4
3月21日	第11回 文学講座	枕草子 25段まで	メンバーで自主勉強	6
延参加人数(全11プログラム)				67

マザースカレッジ企画会

メンバー 郡あや子、岩佐光世、長野尚代、岸上美和、坂野祥子、西野京子

● 活動方針・目標

- ・よりよく生きるために、こども、おとな、本との出会いの中で「ことばの力、生きる糧、人が育つ」をキーワードに研究会、講演会を実施する。
- ・それぞれの地域で貢献できる質の高いストーリーテラーの養成を目指す。

● 活動報告

<ストーリーテリング研究会>

2016年5、6、9、10、11月、2017年1、2月の第4金曜日(年7回)に実施した。ストーリーテリングの実践、講評を行なう事、テキスト「児童文学論」の学習、児童文学作品を読んでの感想、意見交換を通して、ストーリーテラーとしての資質向上に努めた。神戸市青少年会館を利用しているので、神戸YWCAの活動について知ってもらう機会が少ない。

<子ども文庫支援活動 児童養護施設・神戸真生塾おはなし会>

第3日曜日(13時30分～14時30分)に神戸真生塾にて、子どもたちや先生と共に絵本、おはなしを楽しんでいる。これからも続けていきたい。

● 活動実績

<定例会>

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月27日	第1回 定例会 (神戸市青少年会館)	「孔雀のバイ」「ワーズワース詩集」 「ライラックの枝のクロウタドリ」の詩について学習	大月ルリ子	25
6月24日	第2回 定例会 (神戸市青少年会館)	ストーリーテリングの実践、講評	大月ルリ子	25
9月23日	第3回 定例会 (神戸市青少年会館)	歴史小説「児童文学論11章」 「さらわれたデービッド」についての学習	大月ルリ子	21
10月28日	第4回 定例会 (神戸市青少年会館)	ストーリーテリングの実践、講評	大月ルリ子	26
11月25日	第5回 定例会 (神戸市青少年会館)	「銀のうでのオットー」 「第九軍団のワシ」についての学習	大月ルリ子	25
1月27日	第6回 定例会 (神戸市青少年会館)	知識の本「児童文学論12章」 「せいめいのれきし」についての学習	大月ルリ子	19
2月24日	第7回 定例会 (神戸市青少年会館)	ストーリーテリングの実践、講評	大月ルリ子	23
延参加人数(全7プログラム)				164

人の要望に沿った丁寧な授業の実施をしている。「キリスト教の日本語」も説教添削を中心に実施している。今年度は新たに技能実習生クラスを開始した。

これからも地域で生活をする一人ひとりのニーズに合わせた日本語教育の実施をめざす。

●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	I期：4月11日～7月8日 II期：9月5日～11月25日 III期：12月5日～3月10日	I期：2 II期：3 III期：4	延41	3	6
プライベートコース	4月1日～3月31日	22	延56	—	8
日本語クラス講師派遣	4月22日～3月29日	2	—	7	3
技能実習生クラス	5月12日～3月31日	1	3	2	3

委託事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
文化庁 「生活者としての外国人の ための日本語教育事業」 地域日本語教育実践 プロジェクト	生活のための基礎日本語クラス 5月30日～7月27日	1	22	2	5
	多文化共生社会の実現のためのイベント 7月12日、7月23日、8月17日、8月21日 10月10日、12月17日、1月15日、2月12日	—	120	8	5
	やさしい日本語 出前授業他 6月11日、8月29日、12月17日、 2月16日、3月1日、3月8日	—	127	6	3
兵庫県国際交流協会 「外国人県民・児童生徒の 居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス 8月8日～8月26日	2	19	1	8
	はッピー・さぼーと 4月2日～3月25日	—	23	32	2
	はッピー・すくーる 4月9日～3月13日	1	28	10	3
	先輩に聞こう！ 2月18日	1	11	1	2
	ママのにはんごクラス 4月18日～3月13日	1	10	15	5
兵庫県委託訓練事業 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け 日本語・就業力スキルアップコース 9月21日～12月19日	1	13	1	9
神戸市教育委員会	新規 JET 日本語教育研修講座 8月24日～8月26日	3	49	1	3
中央区地域福祉 ネットワーク事業	外国にルーツを持つ子どもの学習（日本語）支援 10月1日～3月31日	4	4	—	4
Project HEAT	外国にルーツを持つ子どもの教育・キャリア支援 1月1日～3月31日	—	14	—	4

<日本語教師養成コース>

講師 福井武司（主任）、櫻井かおり（副主任）、斎藤明子

担当職員 原田雅子

●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師、日本語ボランティアを養成する。

●事業報告

「日本語ボランティア養成講座」を10月に開講し8人が受講。また、4月～10月に神戸舞子学院、1月～3月に明石市国際交流協会で開催された同講座への講師派遣を行なった。修了生は日本語コースの会話ボランティア等に繋がっている。

「夏期日本語集中講座」の実施により、神戸女学院大学、帝塚山学院大学の日本語教育実習を受け入れた。また、尼崎市立成良中学校琴城分校、伊丹市国際交流協会、岡山市国際交流協会、NGO神戸外国人救援ネット、三木市国際交流協会にアドバイザー派遣を行なった。

●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習受け入れ	帝塚山学院大学 7月29日～8月5日	1	9	1	—
	神戸女学院大学 7月29日～8月5日	1	4	1	—
夏季日本語集中講座	7月30日～8月5日	2	21	1	—
日本語ボランティア 養成講座	11月12日～12月17日	1	8	1	1
講師派遣	日本語ボランティア養成講座 (神戸舞子学院) 4月16日～10月15日	1	—	1	1
	日本語ボランティア養成講座 (明石市国際交流協会) 1月28日～3月18日	1	—	1	1
アドバイザー派遣	NGO神戸外国人救援ネット 6月18日 岡山県国際交流協会 1月28日 伊丹市国際交流協会 2月2日 尼崎市立成良中学校琴城分校 3月2日 三木市国際交流協会 3月27日～4月10日	—	—	5	2

<外国語コース>

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クロウン、ポール・ボテロ、マーティン・ウィルス、リッキー・バーネット、マイケル・ウィルキンス、ジョン・シェルドン、マーク・ノートン、ノエル・スラットリー、ジョージ・ハイカリス、デレク・ニヘイ、ホセ・アギラル、テリー・シェンカー、土井川佳世子、川辺比呂子、鄭京淑、金明珉、長綱有理

担当職員 秋月啓子

●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。
- ・効率の良い運営に努め、収支維持を目指す。

●事業報告

レギュラーコースは英語3、韓国語1クラスを実施。

プライベートコースは継続クラスに加え、新規1件（小児）を開講した。土曜ミニクラスは受講生減少により一時継続が難しくなったが、夏以降新たに4人が加わり、賑やかなクラスになった。

（公財）海外子女教育振興財団（JOES）の受託事業、帰国子女のための英語保持教室（小学2年生～中学生、毎週土曜日）は、昨年同様、午後みの時間帯（2コマ）で計10クラスを神戸YWCA講師4人とJOES講師1人が担当した。

カスタムコースは、帰国生の英語保持クラス「All Together」を3クラス（5歳～1年生、2～4年生、5年生～中学生、毎週土曜日）開講し、講師1人（ジョン・シェルドン講師に代わりポール・ボテロが復職）が担当した。「シニア英会話クラス」（年3学期制、火曜日午前）は昨年度に続き1クラスを開講。特別講座「韓国語初級」は受講生減少のため、開講できなかった。

●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース (英語・韓国語)	春・秋・冬学期(各12回)	4	14	36	3
プライベートコース	英語	5	16	延102	5
カスタムコース	英語保持クラス「All Together」	3	13	36	1
	シニア英会話	1	4	36	1
JOES	外国語保持教室 (JOES 委託)	10	50	36	4
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	8	30	1
	コープカルチャー宝塚 (ネイティブ英会話A・B)	2	16	47	1
	コープカルチャー宝塚 (ハングル経験者)	2	8	36	1
	コープカルチャー宝塚 (ハングル初級1・2)	1	16	36	1

● 活動報告

毎月（8月を除く）第1木曜日15時から開催している。橋本静子さんの誠実な指導により讃美歌21を唱破した。新しい讃美歌集を未だ使っていない教会もあるので良い学びとなった。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月12日	第1回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21より575番。またメンデルスゾーン作曲を歌う。讃美歌(Ⅱ編)2,314,30番	橋本静子	8
6月2日	第2回 讃美歌を歌おうかい	奥野昌綱の作詞曲を歌う。讃美歌21より293,97,323,356,397,537	橋本静子	7
7月7日	第3回 讃美歌を歌おうかい	ローリー作曲を歌う。聖歌より687,486 讃美歌(Ⅱ編)525,512	橋本静子	7
9月1日	第4回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌(Ⅱ編)より108,118 みつかいうたいて	橋本静子	8
10月6日	第5回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌(Ⅱ編)より108,118 みつかいうたいて	橋本静子	10
11月10日	第6回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌(Ⅱ編)より108,118 みつかいうたいて	橋本静子	7
12月1日	第7回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌(Ⅱ編)より108,118 みつかいうたいて	橋本静子	9
1月12日	第8回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌(Ⅱ編)からブラッドベリー作曲を歌う。 354,280,310,461,271	橋本静子	8
2月2日	第9回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌(Ⅱ編)からブラッドベリー作曲を歌う。 51,133,168,199,294	橋本静子	9
3月2日	第10回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌(Ⅱ編)からブラッドベリー作曲を歌う。 434,476,477,507,177 175はピアノ演奏で聴く。	橋本静子	8
延参加人数(全10プログラム)				81

*4月は講師休みのため休会

● 聖書を読む会

代表 大工原則子、中尾廣美
メンバー 6人

● 活動方針・目標

聖書を読んでキリストの平和を学ぶ。

● 活動報告

毎月1回(8月をのぞく)第1木曜13時30分から開催している。YWCAの基盤であるキリスト教を背骨のように貫いて、平和、自由の運動をすすめるために聖書を学んでいる。日本基督教団の牧師であった宇都宮佳果先生のご奉仕により、明るくのびやかに聖書を学んでいる。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月7日	第1回 聖書を読む会	マタイによる福音書 24章1～51節	宇都宮佳果	5
5月12日	第2回 聖書を読む会	マタイによる福音書 25章1～41節	宇都宮佳果	7
6月2日	第3回 聖書を読む会	マタイによる福音書 26章1～35節	宇都宮佳果	6
7月7日	第4回 聖書を読む会	マタイによる福音書 26章36～75節	宇都宮佳果	7
9月1日	第5回 聖書を読む会	マタイによる福音書 27章1～31節	宇都宮佳果	8
10月6日	第6回 聖書を読む会	マタイによる福音書 27章32～66節	宇都宮佳果	6
11月10日	第7回 聖書を読む会	マタイによる福音書 28章1～20節	宇都宮佳果	6
12月1日	第8回 聖書を読む会	ルカによる福音書 1章1～38節	宇都宮佳果	5
1月12日	第9回 聖書を読む会	ルカによる福音書 1章39～45節	宇都宮佳果	7
2月2日	第10回 聖書を読む会	ルカによる福音書 2章1～40節	宇都宮佳果	7

3月2日	第11回 聖書を読む会	マタイ3章1～17節 マルコ1章1～11節 ヨハネ1章19～28節	メンバーで実施	5
延参加人数(全11プログラム)				69

● 運営委員会

会長 鶴崎祥子
副会長 小川佐由理、宮田泰子
会計 梅澤昌子
書記 掛橋智佳子、野村春美
委員 小野木愛
総幹事 寺内真子
担当職員 西本玲子

● 活動方針・目標

会員活動を活性化するため組織を見直す。

● 活動報告

今年度は新委員4人を迎えて、運営委員7人と職員2人で取り組んだ。委員のほとんどが働く女性であり、子育て中のメンバーもおり、おのずと委員の担う役割や活動の進め方について変化が求められた。新委員が多い中で、まずは「知ること」「理解すること」にじっくり取り組む一年となった。

会員活動を活性化するための組織の見直しに関して、今年度も多くの時間を割いて話し合いが継続された。今年には特に、2015年度バザー準備委員会からバザー開催について課題を委ねられ、年度初めから話し合いが続けられた。この議論の中から新しく「フェス・プログラム」が誕生し、2017年6月に開催予定である。秋のバザーに関しては、運営委員会が主催して実施した(10月開催)。2015年度に実施した「新しい活動づくりワークショップ」の具体的な成果として「いま会いたい、私らしく生きる女性たち」を10月から2月まで4回実施した。

また97回定期会員集会は2017年3月に開催され、2017年度の会員活動計画が承認された。2017年度「一人ひとりが大切にされる社会」のビジョンのもと「共に社会を変える一歩を踏み出す」ことを目標に、運営委員会がスタートすることとなる。

● 活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
3月28日	第1回 委員会	新旧運営委員会 新役員・各部担当者の決定	11	108 (全13回)	8
4月16日	第2回 委員会	運営委員の働き、2016年度からの課題、 スケジュール確認、部会メンバー候補の決定	9		
5月14日	第3回 委員会	部会メンバー決定 キックオフミーティング詳細検討	8		
6月18日	第4回 委員会	キックオフミーティングの件 フェスプロジェクトについて、機関紙について	8		
7月9日	第5回 委員会	秋バザーの件、フェスプロジェクトの件、 日本Y全国会員総会の件	7		
7月29日	第6回 臨時委員会	秋バザーの進捗報告と検討など	7		
9月17日	第7回 委員会	秋バザーの最終確認、新しい活動づくりの承認の件 下半期スケジュールの確認	8		
10月22日	第8回 委員会	2017ビジョン、活動目標について 定期会員集会議事について	7		
11月12日	第9回 委員会	2017ビジョン、活動目標検討 組織の検討	9		
12月10日	第10回 委員会	2017ビジョン、活動目標決定、分室バザーについて 運営委員会ふりかえりと2017年の計画 定期会員集プログラム	8		
1月14日	第11回 委員会	定期会員集会議事の件 定期会員集会后のプログラムの件	7		
2月4日	第12回 委員会	定期会員集提出資料類の承認	9		
3月11日	第13回 委員会	新旧運営委員会 新役員・各部担当者の決定	10		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月22日	キックオフミーティング	新年度オリエンテーション 活動の目的やルールの確認		18
10月10日	秋のバザー	ファンレイジングと会員交流		294
3月11日	第97回神戸YWCA 定期会員集会	第1部：理事会報告、会員活動報告 および計画承認 第2部：語り場		34
3月25日	分室バザー (神戸YWCA分室)	ファンレイジングと会員交流		172
11月26日	新しい活動づくりワークショップ 「今会いたい、私らしく生きる 女性たち」第1回	神戸で農家とレストランを つなぐ	桂 知秋 (RIPPLE KOBE 事務局)	21
12月10日	新しい活動づくりワークショップ 「今会いたい、私らしく生きる 女性たち」第2回	ローカルでグローバルに生きる	松岡京子 (ヒメジガハハゲストハウス)	15
1月28日	新しい活動づくりワークショップ 「今会いたい、私らしく生きる 女性たち」第3回	自然エネルギーで作る 心豊かな暮らし	井上保子 (非営利型株式会社 宝塚すみれ発電)	22
2月18日	新しい活動づくりワークショップ 「今会いたい、私らしく生きる 女性たち」第4回	だれの子どももころさせない ～思いひとつでつながろう～	羽田尚子 (安保関連法に反対するママ と有志の会 @兵庫)	14
延参加人数 (全8プログラム)				590

会員委員会

代表 鶴崎祥子
メンバー 3人
担当職員 秋月啓子

● 活動方針・目標

- ・会員、会友、賛助員の現状を把握し、会費の管理を行なう。
- ・会員サービスの向上（誕生日カード、グリーティングカードの送付など）を図る。

● 活動報告

会員、会友、賛助員の現状、会費の納入を把握することに終始した。会費納入状況の把握は整理が進み、滞納も少なくなってきた。会員、会友への誕生日カード送付は継続して実施できた。会員委員会はここ数年毎年同じメンバーで構成されている。

● 活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
4月25日	第1回委員会	2015年度までの会費納入状況確認	5	14 (全4回)	3
10月17日	第2回委員会	2016年度会費納入確認	4		
12月5日	第3回委員会	3年間未納者への連絡	1		
1月30日	第4回委員会	2016年度会費未納者への通知	4		

VI. 広報・ファンレイジング

機関紙編集部

代表 野村春美
メンバー 1人
担当職員 秋月啓子

● 活動方針・目標

会員、会友、賛助員、寄付者、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会・関係ある他団体に広く神戸

YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

● 活動報告

2016年度も昨年度に引き続き、平和、憲法について、様々な視点から問いかける紙面を企画のテーマにしてきた。一面記事は、4・5月号「神戸YWCA保育園オープン」（園長・梅川玲子）、6・7月号「私から始まる民主主義」（札幌YWCA・吉田亜希）、8・9月号「底の抜けた世界をどう生きるか」（神戸YWCA会友・野々村耀）、10・11月号「沖縄・高江と憲法と私たち」（神戸YWCA会員・川辺比呂子）12・1月号「障がい者に与えられた賜物」（日本キリスト改革派神戸長田教会牧師・吉田実）2・3月号「どうなる?! 介護保険制度」（機関紙編集部）4・5月号「神戸YWCAビジョン「一人ひとりが大切にされる社会」2017年度活動目標「共に社会を変える一歩を踏み出す」」（新会長、新総幹事、運営委員）。また「わたしのいちまい」は、個人の思い出写真とともに、神戸YWCAの歴史を知ってもらいたいと企画したコーナーである。今年度はメンバー2人、担当職員1人と、今までで一番少ないメンバーでスタートした。そのため、企画、編集、校正、発送のすべてをこのメンバーで行なうことになり、負担も大きかったが、発送では運営委員、職員、会員の助けにより、無事に作業することができた。しかし、メンバー数が増えないことは課題である。機関紙は会員が互いの活動を知るためのツールであり、外部への広報としての役割を担っている。機関紙編集に関わるメンバーが増えることを期待している。

● 活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
4月25日	第1回部会	4・5月号振り返り、6・7月号企画	3	18 (6)	3
6月20日	第2回部会	6・7月号振り返り、8・9月号企画	3		
8月22日	第3回部会	8・9月号振り返り、10・11月号企画	3		
10月24日	第4回部会	10・11月号振り返り、12・1月号企画	3		
12月12日	第5回部会	12・1月号振り返り、2・3月号企画	3		
2月20日	第6回部会	2・3月号振り返り、4・5月号企画	3		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	参加人数
4月1日	4・5月号作業	最終校正	2
4月7日	4・5月号作業	発送	5
5月16日	6・7月号作業	生原稿チェック	2
5月23日	6・7月号作業	レイアウトチェック	2
5月30日	6・7月号作業	最終校正	2
6月6日	6・7月号作業	発送	2
7月11日	8・9月号作業	生原稿チェック	2
7月19日	8・9月号作業	レイアウトチェック	2
7月25日	8・9月号作業	最終校正	2
8月1日	8・9月号作業	発送	5
9月12日	10・11月号作業	生原稿チェック	2
9月20日	10・11月号作業	レイアウトチェック	2
9月26日	10・11月号作業	最終校正	2
10月3日	10・11月号作業	発送	2
11月10日	12・1月号作業	生原稿チェック	2
11月15日	12・1月号作業	レイアウトチェック	2
11月24日	12・1月号作業	最終校正	2
12月1日	12・1月号作業	発送	6
1月16日	2・3月号作業	生原稿チェック	2
1月23日	2・3月号作業	レイアウトチェック	2
1月25日	2・3月号作業	最終校正	2
2月2日	2・3月号作業	発送	2

3月14日	4・5月号作業	生原稿チェック	2
3月21日	4・5月号作業	レイアウトチェック	2
延参加人数（全24プログラム）			58

Ⅶ. 法人

理事会

理事長 平山芳子
 理事 大工原則子、三浦啓子、宮田泰子、モーア アン
 常務理事 寺内真子

● 方針・目標

将来の時代状況の変化を見据え、中長期的視点に立って事業課題を解決する。

● 報告

子ども子育て新制度による神戸市の認可をとり2016年4月1日、小規模保育事業「神戸YWCA保育園（定員12人）」を本館1階に開園。神戸YWCAの理念をもって推進するスタッフの採用により、0歳～2歳の子どもたちの保育が順調に進んでいる。

会館1階事務室は、2階に移動。それに伴い3階・4階の教室の改修、キッチン移動などコンパクトながら機能的になった。

ファンレイジングの取り組みとして、前年度未達成の小規模保育事業への寄附キャンペーンを行なった。また、3月31日には「春のランチオン」を実施した（神戸外国倶楽部／32人参加）。

今年度、まごの手の現状と課題を分析し、将来に向けて検討するため、まごの手未来プロジェクトを設置した。介護保険制度改正により、神戸市の総合事業が始まるため、その対応を検討した。

人事では、今年度で総幹事寺内真子が任期満了で退任、次期総幹事として西本玲子を選任した。

● 実績

開催日	理事会（付記以外、神戸YWCA本館）	出席理事数	出席監事数
6月18日	第1回理事会	6	2
6月25日	第2回理事会	6	2
8月31日	第3回理事会	6	2
10月24日	第4回理事会	5	2
12月7日	第5回理事会	6	2
2月4日	第6回理事会	5	2
3月27日	第7回理事会	5	2

開催日	プロジェクト（神戸YWCA本館）	出席理事数	出席監事数	出席職員数
8月24日	第1回まごの手未来プロジェクト	5	1	1
10月17日	第2回まごの手未来プロジェクト	5	0	2
11月28日	第3回まごの手未来プロジェクト	4	0	2
1月11日	第4回まごの手未来プロジェクト	4	0	2

監事

監事 川辺比呂子、川関敏恵

評議員会

評議員 佐治雅子、柴田富士子、島田恒、下村俊子、関本雅子、寺澤京子、鶴崎祥子、藤野達也、松浦裕子

開催日	評議員会	出席評議員数	欠席評議員数
6月18日	第6回定時評議員会	7	2

会勢報告

会員・会友数 2017/3/31

	2014年	2015年	2016年	増減
成人会員	149	144	139	-5
青年会員	4	2	4	2
年少会員	2	2	0	-2
合計	155	148	143	-5
賛助員				
個人	18	20	22	2
法人	1	1	1	0
会友	10	8	8	0

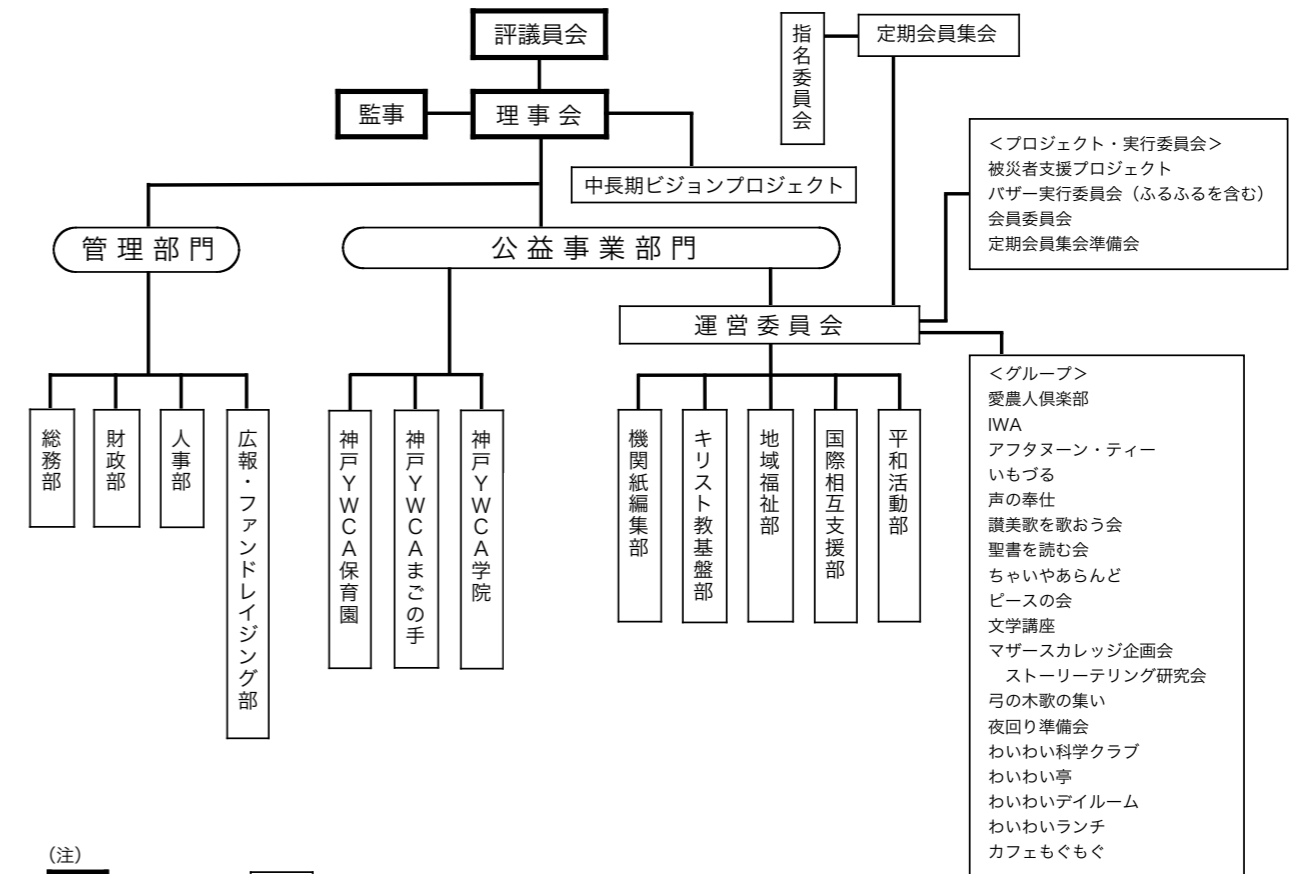
職員数 2017/3/31

	女	男	合計	備考
幹事職	7	0	7	
まごの手職員	7	0	7	
保育園職員	3	0	3	
パート職員 (総務)	3	0	3	うち兼務 1(女)
パート職員 (分室)	2	0	2	
パート職員 (まごの手)	35	1	36	
パート職員 (保育園・保育)	6	0	6	うち兼務 1(女)
パート職員 (保育園・調理)	3	0	3	
学院講師	16	9	25	
合計	82	10	92	

会員・会友年齢別 2017/3/31

年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	2	0
25～29歳	2	0
30～39歳	5	2
40～49歳	12	1
50～59歳	22	0
60～69歳	40	3
70～79歳	33	2
80歳以上	26	0
不明	1	0
合計	143	8

2016年度公益財団法人神戸YWCA組織図



(注) は法令上の組織、 はその他の組織を示す。

■評議員

- 柴田 富士子
- 島田 恒
- 下村 俊子
- 関本 雅子
- 鶴崎 祥子
- 寺澤 京子
- 馬場 一郎
- 藤野 達也
- 松浦 裕子

■理事

- | | |
|------|--------|
| 理事長 | 平山 芳子 |
| 理事 | 大工原 則子 |
| 理事 | 三浦 啓子 |
| 理事 | 宮田 泰子 |
| 理事 | モーア・アン |
| 常務理事 | 寺内 真子 |

■監事

- | | |
|----|--------|
| 監事 | 川関 敏恵 |
| 監事 | 川邊 比呂子 |

■運営委員

- | | |
|-----|--------------|
| 会長 | 鶴崎 祥子 |
| 副会長 | 小川 佐由理、宮田 泰子 |
| 書記 | 掛橋 智佳子、野村 春美 |
| 会計 | 梅澤 昌子 |
| 委員 | 小野木 愛 |

■職員（幹事職）

- | | |
|-----|--------|
| 総幹事 | 寺内 真子 |
| 幹事 | 秋月 啓子 |
| 幹事 | 梅川 玲子 |
| 幹事 | 伝明地 敦子 |
| 幹事 | 西本 玲子 |
| 幹事 | 原田 雅子 |
| 幹事 | 松田 恵美子 |

決算報告書

第 96 期

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

公益財団法人 神戸YWCA

神戸市中央区二宮1丁目12-10

貸借対照表

公益財団法人 神戸YWCA

平成29年 3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	18,537,355	27,143,960	△ 8,606,605
未収金	10,769,141	15,647,951	△ 4,878,810
その他当座資産	7,969	7,717	252
貯蔵品	471,169	434,386	36,783
前払費用	395,809	339,510	56,299
立替金	0	40,964	△ 40,964
仮払金	0	1,932,074	△ 1,932,074
流動資産合計	30,181,443	45,546,562	△ 15,365,119
【固定資産】			
(基本財産)			
その他基本財産	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(特定資産)			
その他積立資産	5,687,177	21,246,803	△ 15,559,626
特定資産合計	5,687,177	21,246,803	△ 15,559,626
(その他固定資産)			
建物	86,582,949	66,425,509	20,157,440
什器備品	458,839	8	458,831
土地	95,000,000	95,000,000	0
電話加入権	284,320	284,320	0
その他固定資産合計	182,326,108	161,709,837	20,616,271
固定資産合計	189,013,285	183,956,640	5,056,645
資産合計	219,194,728	229,503,202	△ 10,308,474
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	4,730,976	3,439,670	1,291,306
前受金	1,084,228	809,208	275,020
預り金	968,526	1,004,722	△ 36,196
仮受金	2,000	64,080	△ 62,080
流動負債合計	6,785,730	5,317,680	1,468,050
【固定負債】			
長期借入金	28,321,000	29,845,000	△ 1,524,000
固定負債合計	28,321,000	29,845,000	△ 1,524,000
負債合計	35,106,730	35,162,680	△ 55,950
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
地方公共団体補助金	15,159,538	0	15,159,538
寄付金	5,687,177	4,746,803	940,374
指定正味財産合計	116,846,715	100,746,803	16,099,912
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(5,687,177)	(21,246,803)	(△ 15,559,626)
【一般正味財産】			
その他一般正味財産	67,241,283	93,593,719	△ 26,352,436
一般正味財産合計	67,241,283	93,593,719	△ 26,352,436
正味財産合計	184,087,998	194,340,522	△ 10,252,524
負債及び正味財産合計	219,194,728	229,503,202	△ 10,308,474

附属明細書

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

公益財団法人 神戸YWCA

1. 基本財産及び特定資産の明細 (単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金				
	(UFJ信託/神戸)	1,000,000			1,000,000
	基本財産計	1,000,000			1,000,000
特定資産	指定寄付金				
	被災者支援	1,328,766	77,372		1,406,138
	指導者養成	575,010	37,110		612,120
	学院奨学金	1,814,777	634,659	283,404	2,166,032
	小規模保育	1,028,250	715,108	260,471	1,482,887
	諸口		20,000		20,000
	特定資産合計	4,746,803	1,484,249	543,875	5,687,177

※指定寄付金は手許現金1,177,372円、三井住友銀行 三宮支店 #9657246 4,509,805円。

2. 引当金の明細

引当金はありません。

正味財産増減計算書

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔一般正味財産増減の部〕			
〔経常増減の部〕			
〔経常収益〕			
【基本財産運用益】			
基本財産受取利息	252	251	1
【受取会費】			
正会員受取会費	1,674,000	1,512,000	162,000
特別会員受取会費	99,000	72,000	27,000
【事業収益】			
事業収益	131,257,316	116,159,486	15,097,830
【受取補助金等】			
受取地方公共団体補助金	0	17,500,000	△ 17,500,000
受取民間補助金	150,000	200,000	△ 50,000
受取国庫助成金	4,870,167	6,227,774	△ 1,357,607
受取地方公共団体助成金	92,752	297,097	△ 204,345
受取民間助成金	1,316,250	4,062,500	△ 2,746,250
受取補助金等振替額	1,206,462	0	1,206,462
【受取寄付金】			
受取寄付金	3,578,181	3,569,818	8,363
受取寄付金振替額	543,875	600,000	△ 56,125
【雑収益】			
受取利息	234	2,099	△ 1,865
雑収益	207,059	466,150	△ 259,091
経常収益計	144,995,548	150,669,175	△ 5,673,627
〔経常費用〕			
【事業費】			
給料手当	87,562,730	79,754,478	7,808,252
賞与	9,225,746	7,545,446	1,680,300
退職給付費用	2,019,755	1,674,987	344,768
法定福利費	8,817,758	7,765,611	1,052,147
福利厚生費	211,969	171,013	40,956
その他人件費	6,359,566	6,676,981	△ 317,415
広告宣伝費	322,933	673,888	△ 350,955
接待交際費	0	1,512	△ 1,512
旅費交通費	1,036,370	944,721	91,649
通信運搬費	1,633,829	1,739,012	△ 105,183
減価償却費	3,879,016	2,523,532	1,373,484
消耗什器備品費	651,841	0	651,841
消耗品費	3,667,345	3,423,255	244,090
修繕費	434,849	254,305	180,544
印刷製本費	375,788	409,037	△ 33,249
光熱水料費	1,805,745	1,743,595	62,150
賃借料	950,401	1,176,224	△ 225,823
保険料	336,318	888,590	△ 552,272
諸謝金	2,546,159	3,388,104	△ 841,945
租税公課	2,415,056	2,609,068	△ 194,012
委託費	2,129,537	2,683,657	△ 554,120
雑費	6,200	10,000	△ 3,800
その他事業費	23,995,001	4,445,158	19,549,843
【管理費】			
給料手当	2,449,525	2,665,343	△ 215,818
賞与	548,099	612,941	△ 64,842
退職給付費用	172,285	160,908	11,377
法定福利費	543,138	581,739	△ 38,601
福利厚生費	5,734	6,861	△ 1,127
その他人件費	90,772	98,173	△ 7,401
広告宣伝費	0	3,461	△ 3,461

正味財産増減計算書

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費交通費	0	7,771	△ 7,771
通信運搬費	37,709	41,859	△ 4,150
減価償却費	249,998	85,479	164,519
消耗品費	66,049	41,048	25,001
修繕費	38,487	12,520	25,967
印刷製本費	66,390	6,847	59,543
光熱水料費	205,445	215,535	△ 10,090
賃借料	49,950	87,262	△ 37,312
保険料	27,085	15,509	11,576
諸謝金	5,568	0	5,568
租税公課	30,444	73,982	△ 43,538
支払負担金	995,007	998,458	△ 3,451
支払寄付金	272,449	0	272,449
支払利息	247,755	50,280	197,475
雑費	16,149	1,102	15,047
その他管理費	2,243,271	1,890,643	352,628
経常費用計	168,763,221	138,159,895	30,603,326
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 23,767,673	12,509,280	△ 36,276,953
当期経常増減額	△ 23,767,673	12,509,280	△ 36,276,953
〔経常外増減の部〕			
〔経常外収益〕			
【その他経常外収益】			
その他経常外収益	35,237	0	35,237
経常外収益計	35,237	0	35,237
〔経常外費用〕			
【その他経常外費用】			
その他経常外費用	2,620,000	0	2,620,000
経常外費用計	2,620,000	0	2,620,000
当期経常外増減額	△ 2,584,763	0	△ 2,584,763
税引前当期一般正味財産増減額	△ 26,352,436	12,509,280	△ 38,861,716
当期一般正味財産増減額	△ 26,352,436	12,509,280	△ 38,861,716
一般正味財産期首残高	93,593,719	81,084,439	12,509,280
一般正味財産期末残高	67,241,283	93,593,719	△ 26,352,436
〔指定正味財産増減の部〕			
【受取補助金等】			
受取地方公共団体補助金	16,366,000	0	16,366,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	1,484,249	1,701,100	△ 216,851
【一般正味財産への振替額】			
一般正味財産への振替額	△ 1,750,337	△ 600,000	△ 1,150,337
当期指定正味財産増減額	16,099,912	1,101,100	14,998,812
指定正味財産期首残高	100,746,803	99,645,703	1,101,100
指定正味財産期末残高	116,846,715	100,746,803	16,099,912
正味財産期末残高	184,087,998	194,340,522	△ 10,252,524

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
〔一般正味財産増減の部〕				
〔経常増減の部〕				
〔経常収益〕				
【基本財産運用益】				
基本財産受取利息	0	0	252	252
【受取会費】				
正会員受取会費	0	0	1,674,000	1,674,000
特別会員受取会費	0	0	99,000	99,000
【事業収益】				
事業収益	131,257,316	131,257,316	0	0
【受取補助金等】				
受取民間補助金	150,000	150,000	0	0
受取国庫助成金	4,870,167	4,870,167	0	0
受取地方公共団体助成金	92,752	92,752	0	0
受取民間助成金	1,316,250	1,316,250	0	0
受取補助金等振替額	1,206,462	1,206,462	0	0
【受取寄付金】				
受取寄付金	1,997,997	1,997,997	1,580,184	1,580,184
受取寄付金振替額	543,875	543,875	0	0
【雑収益】				
受取利息	147	147	87	87
雑収益	92,644	92,644	114,415	114,415
経常収益計	141,527,610	141,527,610	3,467,938	3,467,938
〔経常費用〕				
【事業費】				
給料手当	87,562,730	87,562,730	0	0
賞与	9,225,746	9,225,746	0	0
退職給付費用	2,019,755	2,019,755	0	0
法定福利費	8,817,758	8,817,758	0	0
福利厚生費	211,969	211,969	0	0
その他人件費	6,359,566	6,359,566	0	0
広告宣伝費	322,933	322,933	0	0
旅費交通費	1,036,370	1,036,370	0	0
通信運搬費	1,633,829	1,633,829	0	0
減価償却費	3,897,016	3,897,016	0	0
消耗什器備品費	651,841	651,841	0	0
消耗品費	3,667,345	3,667,345	0	0
修繕費	434,849	434,849	0	0
印刷製本費	375,788	375,788	0	0
光熱水料費	1,805,745	1,805,745	0	0
賃借料	950,401	950,401	0	0
保険料	336,318	336,318	0	0
諸謝金	2,546,159	2,546,159	0	0
租税公課	2,415,056	2,415,056	0	0
委託費	2,129,537	2,129,537	0	0
雑費	6,200	6,200	0	0
その他事業費	23,995,001	23,995,001	0	0
【管理費】				
給料手当	0	0	2,449,525	2,449,525
賞与	0	0	548,099	548,099
退職給付費用	0	0	172,285	172,285
法定福利費	0	0	543,138	543,138
福利厚生費	0	0	5,734	5,734
その他人件費	0	0	90,772	90,772

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
通信運搬費	0	0	37,709	37,709
減価償却費	0	0	249,998	249,998
消耗品費	0	0	66,049	66,049
修繕費	0	0	38,487	38,487
印刷製本費	0	0	66,390	66,390
光熱水料費	0	0	205,445	205,445
賃借料	0	0	49,950	49,950
保険料	0	0	27,085	27,085
諸謝金	0	0	5,568	5,568
租税公課	0	0	30,444	30,444
支払負担金	0	0	995,007	995,007
支払寄付金	0	0	272,449	272,449
支払利息	0	0	247,755	247,755
雑費	0	0	16,149	16,149
その他管理費	0	0	2,243,271	2,243,271
経常費用計	160,401,912	160,401,912	8,361,309	8,361,309
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,874,302	△ 18,874,302	△ 4,893,371	△ 4,893,371
当期経常増減額	△ 18,874,302	△ 18,874,302	△ 4,893,371	△ 4,893,371
〔経常外増減の部〕				
〔経常外収益〕				
【その他経常外収益】				
その他経常外収益	35,237	35,237	0	0
経常外収益計	35,237	35,237	0	0
〔経常外費用〕				
【その他経常外費用】				
その他経常外費用	2,620,000	2,620,000	0	0
経常外費用計	2,620,000	2,620,000	0	0
当期経常外増減額	△ 2,584,763	△ 2,584,763	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 21,459,065	△ 21,459,065	△ 4,893,371	△ 4,893,371
当期一般正味財産増減額	△ 21,459,065	△ 21,459,065	△ 4,893,371	△ 4,893,371
一般正味財産期首残高	23,524,326	23,524,326	△ 12,298,258	△ 12,298,258
一般正味財産期末残高	2,065,261	2,065,261	△ 17,191,629	△ 17,191,629
〔指定正味財産増減の部〕				
【受取補助金等】				
受取地方公共団体補助金	16,366,000	16,366,000	0	0
【受取寄付金】				
受取寄付金	1,484,249	1,484,249	0	0
【一般正味財産への振替額】				
一般正味財産への振替額	△ 1,750,337	△ 1,750,337	0	0
当期指定正味財産増減額	16,099,912	16,099,912	0	0
指定正味財産期首残高	4,446,803	4,446,803	0	0
指定正味財産期末残高	20,546,715	20,546,715	0	0
正味財産期末残高	22,611,976	22,611,976	△ 17,191,629	△ 17,191,629

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位：円)

科 目	内部取引消去	合 計
〔一般正味財産増減の部〕		
〔経常増減の部〕		
〔経常収益〕		
【基本財産運用益】		
基本財産受取利息		252
【受取会費】		
正会員受取会費		1,674,000
特別会員受取会費		99,000
【事業収益】		
事業収益		131,257,316
【受取補助金等】		
受取民間補助金		150,000
受取国庫助成金		4,870,167
受取地方公共団体助成金		92,752
受取民間助成金		1,316,250
受取補助金等振替額		1,206,462
【受取寄付金】		
受取寄付金		3,578,181
受取寄付金振替額		543,875
【雑収益】		
受取利息		234
雑収益		207,059
経常収益計		144,995,548
〔経常費用〕		
【事業費】		
給料手当		87,562,730
賞与		9,225,746
退職給付費用		2,019,755
法定福利費		8,817,758
福利厚生費		211,969
その他人件費		6,359,566
広告宣伝費		322,933
旅費交通費		1,036,370
通信運搬費		1,633,829
減価償却費		3,897,016
消耗什器備品費		651,841
消耗品費		3,667,345
修繕費		434,849
印刷製本費		375,788
光熱水料費		1,805,745
賃借料		950,401
保険料		336,318
諸謝金		2,546,159
租税公課		2,415,056
委託費		2,129,537
雑費		6,200
その他事業費		23,995,001
【管理費】		
給料手当		2,449,525
賞与		548,099
退職給付費用		172,285
法定福利費		543,138
福利厚生費		5,734
その他人件費		90,772

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日 (単位：円)

科 目	内部取引消去	合 計
通信運搬費		37,709
減価償却費		249,998
消耗品費		66,049
修繕費		38,487
印刷製本費		66,390
光熱水料費		205,445
賃借料		49,950
保険料		27,085
諸謝金		5,568
租税公課		30,444
支払負担金		995,007
支払寄付金		272,449
支払利息		247,755
雑費		16,149
その他管理費		2,243,271
経常費用計		168,763,221
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 23,767,673
当期経常増減額		△ 23,767,673
〔経常外増減の部〕		
〔経常外収益〕		
【その他経常外収益】		
その他経常外収益		35,237
経常外収益計		35,237
〔経常外費用〕		
【その他経常外費用】		
その他経常外費用		2,620,000
経常外費用計		2,620,000
当期経常外増減額		△ 2,584,763
税引前当期一般正味財産増減額		△ 26,352,436
当期一般正味財産増減額		△ 26,352,436
一般正味財産期首残高		93,593,719
一般正味財産期末残高		67,241,283
〔指定正味財産増減の部〕		
【受取補助金等】		
受取地方公共団体補助金		16,366,000
【受取寄付金】		
受取寄付金		1,484,249
【一般正味財産への振替額】		
一般正味財産への振替額		△ 1,750,337
当期指定正味財産増減額		16,099,912
指定正味財産期首残高		100,746,803
指定正味財産期末残高		116,846,715
正味財産期末残高		184,087,998

1. 重要な会計方針

一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に準拠します。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
評価基準は原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施しています。ただし、建物については定額法で実施しています。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施しています(電話加入権を除く)。
有形固定資産、無形固定資産ともに直接法で表示しています。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000			1,000,000
小計	1,000,000			1,000,000
特定資産				
(指定寄付金)				
被災者支援	1,328,766	77,372		1,406,138
指導者養成	575,010	37,110		612,120
学院奨学金	1,814,777	634,659	283,404	2,166,032
小規模保育	1,028,250	715,108	260,471	1,482,887
諸口	0	20,000		20,000
小計	4,746,803	1,484,249	543,875	5,687,177
合計	5,746,803	1,484,249	543,875	6,687,177

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000		
小計	1,000,000	1,000,000		
特定資産				
(指定寄付金)				
被災者支援	1,406,138	1,406,138		
指導者養成	612,120	612,120		
学院奨学金	2,166,032	2,166,032		
小規模保育	1,482,887	1,482,887		
諸口	20,000	20,000		
小計	5,687,875	5,687,177		
合計	6,687,875	6,687,177		

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	123,690,091	37,107,142	86,582,949
器具及び備品	3,720,044	3,261,205	458,839
ソフトウェア	410,287	410,287	0
合計	127,820,422	40,778,634	87,041,788

5. その他

職員の退職金支給にそなえるため、中小企業退職金共済制度に加入しています。

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金	手許保管	運転資金として	389,414
普通預金	三井住友銀行 三宮支店 NO. 1015232	運転資金として	4,236,355
	同上 NO. 8350060	運転資金として	25,777
	同上 NO. 889763	運転資金として	13,838,089
	振替貯金 郵貯銀行 01100-0-10298	運転資金として	37,290
	同上 14380-20680301	運転資金として	10,430
		<現・預金計>	18,537,355
その他当座資産	UFJ信託銀行神戸支店 定期預金利息	運転資金として	7,969
棚卸し資産	貯蔵品/切手	共用財産	471,169
前払費用	平成29年度損害保険料	共用財産	395,809
未収金	まごの手等	公・介護事業収益等	10,769,141
流動資産合計			30,181,443
固定資産			
基本財産	定期預金 UFJ信託銀行神戸支店	管理運営に資するもの 運用益を管理運営に使用	1,000,000
特定資産			
指定寄付金	三井住友銀行普通預金NO.9657246 ※口座残高4,509,805円 ※現金 手許保管1,177,372円	被災者支援 指導者養成 学院奨学金 小規模保育事業 諸口	1,406,138 612,120 2,166,032 1,482,887 20,000
		<特定資産計>	5,687,177
その他固定資産			
建物	鉄骨造6階建て 会館	(共用財産) うち公益目的保有財産97.14% うち管理運営に資するもの2.85%	62,529,524 60,729,900 1,799,624
	会館1階 神戸YWCA保育園 分室	公益目的保有財産 公益目的保有財産	22,922,779 1,130,646
		<建物計>	86,582,949
土地	神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	(共用財産) うち公益目的保有財産97.14% うち管理運営に資するもの2.85%	95,000,000 92,285,714 2,714,286
什器備品	受付カウンター等 事務所什器備品 防犯設備一式	公益目的保有財産 管理運営に資するもの 管理運営に資するもの	8 225,000 233,831
		<什器備品計>	458,839
電話加入権	7口	管理運営に資するもの	284,320
		<その他固定資産計>	182,326,108
固定資産合計			189,013,285
		うち公益目的保有財産	177,069,047
		うち特定資産	5,687,177
		うち管理運営に資するもの	6,257,061
資産合計			219,194,728

財産目録
平成29年 3月31日現在

監査報告書

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動負債			
未払金	まごの手 給与手当・交通費等 文化庁委託事業返納金 事務所什器備品設計・設置 その他	公・介護事業の人件費 公・未費消額返金 管理運営に資するもの 公・事業費 〈未払金計〉	2,974,367 1,044,043 300,000 412,566 4,730,976
前受金	平成29年度 各会費 平成29年度 各受講料 その他	管理運営に資する翌事業年度の会費 公・各講座の翌事業年度の受講料 公・事業費 〈前受金計〉	266,000 618,228 200,000 1,084,228
仮受金	神戸YWCA同窓会 会費	公・事業費	2,000
預り金	役職員他 役職員他 役職員他	源泉所得税 住民税 社会保険料 〈預り金計〉	343,925 122,900 501,701 968,526
流動負債合計			6,785,730
固定負債			
長期借入金	日本政策金融公庫	公・保育事業設備工事費,運転資金	28,321,000
固定負債合計			28,321,000
負債合計			35,106,730
正味財産			
指定正味財産	会館1階 神戸YWCA保育園 三井住友銀行 三宮支店 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 現金 手許保管 現金 手許保管 定期預金 UFJ信託銀行神戸支店 土地 神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	地方公共団体補助金 小規模保育事業 指定寄付金 被災者支援 指定寄付金 指導者養成 指定寄付金 学院奨学金 指定寄付金 小規模保育事業 指定寄付金 小規模保育事業 指定寄付金 諸口 基本財産 〈指定正味財産計〉	15,159,538 1,406,138 612,120 2,166,032 325,515 1,157,372 20,000 1,000,000 95,000,000 116,846,715
一般正味財産			67,241,283
正味財産合計			184,087,998
負債及び正味財産合計			219,194,728

(注)平成28年度期首及び期末の公益目的保有財産額の合計は次のとおりです。

(単位:円)

期首	156,815,108
期末	177,069,047

公益財団法人 神戸YWCA

理事長 平山 芳子 殿

平成29年 5月 25日

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川原 敏恵

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川邊 比呂子

私たち監事は、平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計簿書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計簿書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計簿書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



地域のお店 くるくる



「YWCA ファンを増やそう！動画プロジェクト」のための動画撮影



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



ツイッター @KobeYWCA



インスタグラム : kobeywca

公益財団法人 神戸 YWCA

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。